

› 持続可能な社会を目指して

Sustainability in Japan



ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

グループ全体のサステナビリティ報告について

株式会社 LIXIL および、海外の子会社を含めた LIXIL グループ全体で進めるサステナビリティへの取り組みについては、持ち株会社である株式会社 LIXIL グループの公式ホームページ（Global サイト）で、年次報告を基本に公開しています。GRI ガイドラインの対象リストを添え、重要データについては第三者保証を受けています。経営ビジョンやグループ全体のガバナンス体制、IR 関連情報も Global サイトをご覧ください。

LIXIL グループ

公式ホームページ「サステナビリティ」は[こちら](#)

LIXIL グループ

コーポレート・レスポンシビリティ報告 2016 > [PDF](#)

本 PDF 報告について

本 PDF は、2017 年 3 月末時点の

株式会社 LIXIL 公式ホームページ「持続可能な社会を目指して」の公開情報を、年次報告としてまとめたものです。

LIXIL グループは世界のさまざまな社会課題についてグローバルで取り組んでいますが、日本においても企業としての責任を果たしていくため、さまざまな活動を継続的に行ってています。

株式会社 LIXIL 公式ホームページでは、株式会社 LIXIL と子会社が国内で取り組んでいる CR 活動について都度更新、公開しています。各工場や営業所、子会社などの従業員が、地域の一員として取り組む具体的な内容や職場環境づくりなど、最新の情報をご覧いただけます。

株式会社 LIXIL

公式ホームページ「持続可能な社会を目指して」は[こちら](#)



ステークホルダー
エンゲージメント

お客様のために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



▶ ステークホルダーエンゲージメント

LIXIL グループは、世界中で革新的かつ責任ある活動を通して生活の質向上に貢献することを目指し、2016 年 3 月、グループのコーポレート・レスポンシビリティ (CR) 戦略、重点分野と目標を新たに設定しました。

[コーポレート・レスポンシビリティ \(CR\) 戦略 \(Global サイト\) >](#)

日本においても、持続可能な社会の構築に貢献することで、社会的責任を果たし、自らの持続可能性も追求していきます。

LIXIL の事業活動は、多くのステークホルダー（利害関係者）とのつながりの中で行われ、支えられています。お客さまをはじめ、取引先などのビジネスパートナーや事業拠点の地域に暮らす方々、LIXIL に投資し未来を託してくださる株主・投資家、従業員やその家族たち、あらゆるステークホルダーと真摯に向き合い、公正で健全な経済活動を行い、社会からの期待に応えてまいります。グローバルリーダーとして、長期的な社会的視点を忘れず、ステークホルダーとの関係構築の中で社会課題の解決に取り組み、地球環境への負荷に配慮した価値を創造していくことで、LIXIL は未来世代への責任も果たしていきます。それが持続可能な社会への貢献となり、社会からの信頼獲得につながると考えます。

ステークホルダーについて

お客さま



LIXIL は、優れた製品とサービスを提供し、気持ちよく使っていただくことで利潤を得、社会に貢献し、事業を行っています。お客さまに安心してお使いいただき、満足いただける商品・サービスを提供し、受け入れていただくことが事業存続の要点です。

豊かで快適な住生活の未来に貢献していくためにお客さまの声に耳を傾け、専門家の助言を受けとめながら、その期待に応えていくことによって、お客さまとの信頼構築に努めています。

地域社会

LIXIL は、日本国内においても 40 の生産拠点、100 を超える営業拠点が、それぞれの地域社会の中で事業を行っています。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



グローバルな視点を忘れず、社会を構成する一員として、ビジネスの範囲にとどまらず、地域と協働していくことが重要だと考えます。地域社会には、そこで生活を営む市民の皆さまをはじめNPO、行政、教育関係者、地元企業など、あらゆる立場の多様な人たちがいます。

接点のなかった人たちとの出会いによって、従業員一人ひとりの意識も触発されます。相互に理解しあうことから始めています。

従業員や従業員の家族



LIXIL グループは、全世界で約 80,000 人の従業員を擁するグローバル企業です。多くの従業員の周りには家族や友人たちがおり、雇用創出とその維持は企業に求められる大きな役割です。従業員が多くの時間を割く場である LIXIL は、安心して働け、それぞれの能力や特性を発揮できる環境を提供しなければなりません。より良い労使関係が LIXIL の生み出す提供価値を高めます。

サプライチェーン：仕入先や販売先、ビジネスユーザー



LIXIL の事業は、ビジネスパートナーである取引先に支えられています。世界中の取引先と健全なパートナーシップを築いていくために、「公正・公平な取引」「社会規範の順守」「人権の尊重と労働環境への配慮」「環境への配慮」「取引先様との共存共栄」を柱とした「調達方針」を定め、グローバルで推進しています。グループ全体の取り組みを参照ください。

[サプライチェーンマネジメント \(Global サイト\) >](#)

株主、投資家

株式会社として、株主への利益還元は必須です。将来への投資を勝ち取るためにも、LIXIL は長期的な展望に立ち、グローバルな評価にも耐えていかなければなりません。短期的収益も維持しつつ、中長期で社会の持続可能性に寄与できる企業として、経営基盤を整えていきます。ガバナンス体制を強化し、20 年 30 年後を見据えた、リスク回避や機会創出を図っていきます。

[株主・投資家向け情報 \(Global サイト\) >](#)



地球環境



すでに人類の資源消費量は、地球 1 個分では足りなくなっています。地球温暖化防止はもとより、生物多様性の維持、希少資源の保全やリサイクル、水や食料の問題も顕在化しています。

多くの資源を加工し製造するメーカーとして、また水や電気を使用する製品を提供する LIXIL として、地球環境への負荷低減は重要な使命です。グループ全体で、グローバルで環境保全の取り組みを進めています。

[環境 \(Global サイト\) >](#)



その他、各界の専門家・有識者、NPO・NGO、行政、業界団体・・・

企業は多くのステークホルダーとの関係の中で経営を行っています。R&D や HR (人事)、渉外部などそれぞれの機能組織もそれぞれに社外のネット

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する
- | 情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

ワークを持ち、さまざまな声を聴きながら事業活動を行っています。LIXIL内の知見にとどまらず、広く知恵を借り、指摘を受けてめながら、持続可能な社会に向けた企業の役割を確認し、企業としての持続性も担保していきます。LIXILのすべての部門、すべての人たちが、社会的視点を持って自身の活動を振り返る機会を増やしていきます。

これまでのステークホルダーダイアログについて

LIXILは、さまざまなステークホルダーとダイアログ（対話）を実施しています。「製品安全」をテーマとした課題別ダイアログでは、各回テーマに沿った有識者に参加いただき、回を重ねてきました。また、地域の皆さんと対話する「コミュニティ・ダイアログ」は、全国各地の工場や営業所が主体となって取り組み、開催拠点数も90か所を超えるました。

最新のダイアログおよび、これまでの開催概要については、以下のページをご覧ください。

[課題別ダイアログはこちら >](#)
[地域との対話はこちら >](#)

説明責任（情報開示）について

社会課題の解決に向け、自ら行動し、あらゆるステークホルダーからの期待に応えていくことは容易ではありません。持続可能な経営をめざし、事業推進していくことを理解いただくために、LIXILはインテグリティを持って情報開示を行っていきます。

グループ全体のサステナビリティ報告は、LIXILグループの公式ホームページ（Globalサイト）で公開します。年次報告を行い、重要データについては第三者保証を得ています。IR関連情報も含め、Globalサイトをご覧ください。

本ホームページでは、日本での社会課題を踏まえ、日本の取り組みについて記載しています。地球全体の環境負荷低減に取り組みつつ、地域の自然環境も日本に暮らす私たちが保全していかなければなりません。日本のお客さまや従業員、事業を行う地域社会の中での取り組み、そして将来を担う大切なステークホルダーである未来世代に向けた活動報告です。

[サステナビリティ（Globalサイト）>](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに



➤ お客さまのために

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

LIXILは、長年培ってきた知見・ノウハウをいかしながら、環境に配慮した質の高い製品・サービスの開発に努め、住宅からオフィス・商業施設まで、多岐にわたる建材・設備機器と住関連のサービスを提供しています。

LIXILは、お客さまからの信頼獲得の源泉は、「製品・サービスにおける品質」にあると考え、お客さまに安心してお使いいただくため、開発から販売後のサポートまで、すべての段階で常に最高の品質を追求しています。

安全に関する情報発信と啓発



安全なくらしのギャラリー や安全教育授業プログラムなど、暮らしの中で知っておきたい安全についての情報を、お客さまにお届けしています。

[more >](#)

課題別ダイアログ



住環境学の研究や消費者の啓発活動に取り組まれている専門家の方々と、「製品安全」をテーマに、ダイアログを行っています。

[more >](#)

ビジネスパートナーとともに



LIXILの製品は、さまざまなビジネスパートナーの協力によって、住宅や公共施設、商業施設などに届き、快適な暮らしや街づくりに活用されています。

[more >](#)

関連リンク

[経済産業省 製品安全ガイド >](#)

[サステナビリティ 製品安全 \(Global サイト\) >](#)

[サステナビリティ 顧客満足 \(Global サイト\) >](#)

[お客さまの声を活かした事例のご紹介ははこちら >](#)

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

| 課題別ダイアログ
| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話
| 自然環境の保全
| 復興支援
| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ
| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重
| 働きがいのある職場環境づくり
| ヘルスケア
| 労働組合



ホームページでの情報発信

住宅設備機器や建材は、長期間にわたってお使いいただくことが多く、住む人のライフステージの変化への対応も求められています。施工を伴い、簡単に取り換えられない製品だからこそ、安心して使い続けられる製品の提供に努めています。LIXILは、省エネ・節水といった製品性能などの情報ばかりでなく、長期使用による劣化への注意喚起や定期点検の重要性、万一の事故への対処法など、さまざまな場面を想定した情報を、ホームページで公開しています。特に、製品不具合に関する情報や災害時の対応などの重要な情報は、LIXILトップページに入口を設置し、周知を心掛けています。

また、製品について知りたいことや迷ったことを確認したり、お問い合わせいただけるようお客さまサポートのページでは、[ご使用上の注意](#)、[トラブル診断](#)、[お手入れ・お掃除方法](#)などを掲載し、[取扱い説明書の閲覧](#)も可能です。

[重要なお知らせはこちら >](#)
[お客さまサポートはこちら >](#)

Safe Lifestyle Gallery (安全なくらしのギャラリー)

快適な住生活をご提供する製品も、誤った使い方や経年劣化などにより思わぬ事故につながることがあります。製品事故を未然に防ぐためには、事故によって引き起こされる現象やその原因について、正しくご理解いただくことが大切だと考えます。

「Safe Lifestyle Gallery」では、シャワートイレ焼損事故など製品事故の再現展示や、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）が行った製品事故の再現映像をご覧いただけます。また、末永く安全に安心してお使いいただくためのお手入れや点検のポイント、製品安全・消費者教育に関する新しい情報もパネルなどで紹介しています。関連書籍の閲覧も可能です。



「Safe Lifestyle Gallery」は、「LIXIL資料館」内に併設されています。

[LIXIL資料館はこちら >](#)

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

| 課題別ダイアログ
| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話
| 自然環境の保全
| 復興支援
| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ
| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重
| 働きがいのある職場環境づくり
| ヘルスケア
| 労働組合

安全教育授業プログラム

LIXILでは、製品安全活動の一環として小学校5・6年生を対象とした「安全教育授業プログラム～家の中の安全を考えよう～」をNPO法人企業教育研究会(ACE)と共同で開発し、学校教員や教育関係者を対象に無償提供しています。身近な事例ドラマを視聴しながら、「家の中に潜むキケン」について学び、事故を未然に防止する方法について、子どもたちが自ら考え、行動することを促すプログラムです。

また、この教材を使用したLIXIL従業員による出前授業も実施しています。2015年度は23校45クラスの児童1400人が参加し、児童からは、「外にキケンがあることは分かっていたけど、家の中にもこんなにキケンな場所があるとは思わなかった」「事故を防ぐためにこんな方法があるんだなと思った」「友だちや家族にも伝えたい」といった感想が聞かれました。

本教材は公益財団法人消費者教育支援センターが主催する「平成26年度消費者教育教材資料表彰」において優秀賞を受賞しました。LIXILは今後も、主体的に考え方行動する消費者市民の育成にも貢献してまいります。



- [公益財団法人「消費者教育支援センター」公式サイト >](#)
- [NPO法人「企業教育研究会」公式サイト >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

| 課題別ダイアログ
| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話
| 自然環境の保全
| 復興支援
| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ
| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重
| 働きがいのある職場環境づくり
| ヘルスケア
| 労働組合

安全教育授業プログラム「家の中の安全を考えよう」 (小学校5・6年生向け)のご案内

はじめに

子どもたちに事故のない安全な暮らしを送ってもらうために、学校現場では安全教育の推進が求められています。

家の事故による死者数は年間14,300人(※1)で、交通事故による死者数4,400人(※2)の3倍近くになっています。子どもたちが多く時間を使っている家の中で事故に遭わないようにするために、また主体的に行動して安全な暮らしを送ることができるようになるための教育が必要となっています。

LIXILでは、子どもたちとともに安全を考えることを目的として、小学校5・6年生を対象とした「安全教育授業プログラム～家の中の安全を考えよう～」をご用意しました。

※1 厚生労働省「平成26年人口動態統計年報」

※2 警察庁「平成27年警察白書」

教材のセット内容

教材名	安全教育授業プログラム～家の中の安全を考えよう～	
内訳	①指導手引 (A5版16ページ)	授業の流れやモデル授業案を説明しています。 事例ドラマ2編と授業の進行を補助するスライドが入っています。 危険を予知する特殊能力をもった主人公が、家族が事故に遭わないようにするために事前にできることがないかを児童と一緒に考えます。 (内容) <ul style="list-style-type: none">・ドラマ「超能力少女アイ」(12分57秒)・発展学習用ドラマ「超能力少女アイ2」(10分10秒)・スライド(20ページ) ※チャプター画面により、視聴したいドラマを選択することができます。
	②DVD(1枚)	
	③ワークシート (A4版×2枚)	自分の家について調べる発展課題用のワークシートです。 ※コピーしてご使用ください。



指導手引 (表紙)



ドラマ主人公<アイちゃん>



スライド (全20ページ)



ワークシート

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

| 課題別ダイアログ

| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話

| 自然環境の保全

| 復興支援

| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ

| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重

| 働きがいのある職場環境づくり

| ヘルスケア

| 労働組合

お申込み方法

ご希望日の14日前までに、下記の必要事項をご記入の上Eメールにてお申込みください。

受付完了後、10営業日前後で郵送または宅配便によりお届けします。

【お申込み時の必要事項】

① 学校名・団体名	② 学校名・団体名フリガナ	③ ご担当者名
④ ご担当者名フリガナ	⑤ E-Mail	⑥ 郵便番号(半角数字)
⑦ ご送付先住所	⑧ 電話番号(半角数字)	⑨ お問い合わせ内容など

- ・お申込み受付対象は、学校教員および教育機関関係者とさせていただきます。
- ・教材・送料とも無料でお送りいたします。
- ・在庫状況によってご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

【お申込み・お問合せ先】

本教材に関するお申込みやお問合せは、下記の宛先までメールでお送りください。

株式会社 LIXIL 安全教育授業プログラム係

E-Mail : anzen2015p@lixil.com

個人情報の取り扱いに関しては、LIXILプライバシーポリシーをご参照ください。[URL : http://www.lixil.co.jp/privacy/](http://www.lixil.co.jp/privacy/)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | **課題別ダイアログ**
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



LIXIL が取り組む製品安全活動の方向性が社会の要請とズれていないか検証し、必要な改善策を講じるために、製品安全に関わる有識者とのダイアログを毎年実施しています。

2016 年 3 月「第 5 回製品安全ダイアログ」では、住環境学の研究、消費者市民社会の実現に向けた取り組み、地域での草の根の消費者啓発などの分野で活躍されている有識者の方々をお招きし、当社の製品安全活動についてご意見をいただきました。

開催概要

日時	2016 年 3 月 22 日
場所	株式会社 LIXIL WING ビル内 LIXIL 資料館
社外ステークホルダー	阿南 久氏(一般社団法人消費者市民社会をつくる会 理事長) 長田 三紀氏(全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長) 山崎 古都子氏(滋賀大学 名誉教授)
株式会社 LIXIL からの	中山 潤一(上席執行役員 R&D 本部 新事業研究センター長)
参加者	小島 康夫(品質本部 品質マネジメント部 部長) 水野 治幸(R&D 本部 生活価値研究所 所長) 高久 由香里(R&D 本部 生活価値研究所 人間行動観察グループリーダー)

※肩書・所属・役職名は 2016 年 3 月 22 日現在

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

| 課題別ダイアログ

| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話
| 自然環境の保全
| 復興支援
| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ
| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重
| 働きがいのある職場環境づくり
| ヘルスケア
| 労働組合使い方、暮らし方を意識して
製品事故を分析し製品開発に活かす

LIXIL LIXILは顧客満足度を高める活動を続けており、その根本にあるのが製品安全と考えて取り組んでいます。製品安全活動を独りよがりなものにしない、との思いからダイアログを行い、さまざまなお意見をいただきいただきました。

先日、山崎先生から居住力についてお聞きし、非常に共感しました。今回は居住力の観点からLIXILの取組についてご意見を伺いたいと思います。

山崎 居住力とは、主体者である居住者自らが環境を整える力です。商品は住生活、住環境を構成する一つの舞台装置です。居住者が居住力を持って使いこなすことによって、商品の価値だけに止まらず、住環境そのものがグレードアップする。そういう力が居住力だと考えます。

阿南 先日のセミナーで山崎先生から、昔は大掃除の日があったというお話を聞きし、感激しました。

山崎 地域一斉に大掃除をしないと、ねずみの駆除ができなかつたんですね。そのため掃除休暇もありました。ところが、大型ごみが大量に出て自治体の処理が追いつかなかつたり、家具の寿命を短くするといった論調も出てきたりして、大掃除の習慣がなくなっていました。

阿南 みんなが家のことを考えて掃除し、メンテナンスしていくば、家の中での事故はもっと減るのではないか、なんとか復活できないだろうか、と思います。



LIXIL いま重大製品事故は、日本で年間約900件あります。残念ながらLIXIL製品も含まれています。初めから製品起因でないと判断して届け出ない企業もあるそうですので、単純に会社ごとに比較はできませんが、LIXILでは事故は全て報告しています。

長田 製品開発の時には、事故の情報がとても大切です。たとえば、低温やけどを避けるための温水洗浄便座の温度設定についても、情報があればより的確に設計できます。

山崎 製品起因かどうかを判断する際に気になるのは、使用者と商品を作っている人との間にギャップがあるのではないかということです。

たとえば扉は、十分に開けられる状態や広さで使う前提で作ってはいけないでしょうか。でも、日常の生活環境では、周りに様々な物が置かれ、勝手口やお風呂場では、扉を大きく開けられないことも少なくありません。消費者がどのような環境で使っているかを見定める必要があります。



山崎 古都子氏

LIXIL 2年前に新しい研究所を発足させて、「住まい方」や「暮らし方」を洞察する活動を強化しました。その過程で、「行動観察」や「感性工学」といった潜在意識を探る研究に取り組んでいます。普段の生活の中に入っていて「私たちが見ていることを意識しないで、いつも通り行動してください」とお願いすると、本人も気づかなかつたことが見えてきます。それらの結果を分析して製品に反映させていますが、住まいに潜む危険を探る上で、今の山崎先生のご指摘も取り入れて調査する必要があります。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

課題別ダイアログ

| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話
| 自然環境の保全
| 復興支援
| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ
| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重
| 働きがいのある職場環境づくり
| ヘルスケア
| 労働組合

便利さの中で失われていく生活の知恵や技術を 伝承する

山崎 昔は必ずしも水質の良くない井戸があり、水を汲んだら甕（かめ）にとり、杉の葉を入れて浄化して使う。生水を飲まないという知恵がありました。浄化すれば水は澄みますが、細菌はなくなりませんから、質が悪い水は必ず沸騰させて使っていたのです。

それは生活中で自然に身につけたことですが、今の子どもたちは、杉で水を濾こすとか、生水を沸かして飲むことについて、どれだけ知っているでしょう。水はそのまま飲めると思い込んでいますよね。だから、赤い水が出ると大騒動になります。世の中や製品が便利になればなるほど、私たちは持っていた知恵とか技術を失っています。先人の知恵が失われていくと、日本でも感染症が増えるということにもなりかねません。

LIXIL 居住力の伝承ですね。たとえば雨どいが詰まると水があふれて軒が腐って家が傷むということを、昔は当たり前に知っていました。そのため、水防の日とか、雨どいを掃除する日がありましたが、今はありません。

阿南 技術の進歩の例で言いますと、トイレが電気製品になり暖房便座が実現し、快適になりましたがその半面、低温やけどなどの事故も発生するようになりました。これはどうなのだろうかと思います。トイレにももっと電気製品でないものも含めて選択肢があり、消費者自身の知恵や工夫が發揮される余地があっても良いのではないかと思います。



阿南 久氏

山崎 つい先日、ガスファンヒーターを買い換えました。きっかけは、動かなくなったからですが、よくよく調べると内蔵しているホコリ除けのフィルターが破れていたのです。

ちょうど10年目でしたが、販売店から「10年前の部品はありません」と言われ、仕方なく新しいものにしました。「5年目くらいにフィルターを替えておけば、あと5年は使えたね」と、うちでは笑っています。部品があるときに取り換えて、古いものを上手に使っていくことも、居住力の一つだと思います。

阿南 長年持たせるには、きちんと掃除やメンテナンスをしないといけないということですね。そのような居住力をどうやって消費者に伝えていくのかですね。

消費者の身边なところから安全教育を進める

LIXIL LIXILでは、製品安全をテーマに小学生向けのDVD教材を作成し、2015年から出前授業をスタートしました。



阿南 姿勢はとても良いと思います。一方、家庭で起きる製品事故の防止を考えると、学校教育に加えて、その事故にあうリスクが高い人たち、特に高齢者や体の不自由な方などに、直接伝えられる取組をもっと強化すると良いのではないでしょうか。

長田 暮らしの中にある危険といえば、昔は子どもが自分の自転車を手入れしていました。手入れは、不具合に気づくチャンスもあります。子どもなら子どもに合うテーマを、もう少し上の年代なら、別のテーマというように、対象に応じ

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

| 安全に関する
情報発信と啓発活動

| 課題別ダイアログ

| ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

| 地域との対話
| 自然環境の保全
| 復興支援
| 寄付、協賛、共催

未来世代のために

| 伝え、ともに学ぶ
| 日本での評価、約束

従業員とともに

| 多様性の尊重
| 働きがいのある職場環境づくり
| ヘルスケア
| 労働組合

て内容を分けることを考えても良いかもしれません。

LIXIL LIXIL グループのビバホームでは、消費者に密着した製品をたくさん扱っています。自転車や石油ストーブ、踏み台など、製品ごとにどのような安全教育を消費者に提供すべきか考えるということですね。リフォーム & デザインセンターを活用すれば、販売した商品に責任を持って、住生活に関わる物以外も含めて、消費者の皆さんと製品安全の話ができそうですね。



長田 三紀氏

阿南 それはいいアイデアですね。

社内の消費者市民社会意識の醸成が 地域の製品安全教育に

長田 最近、多世代の交流、子育て支援の一環として、おばあちゃん世代が手伝っていこうという取組がとても増え、放課後や学校が休みの土曜日に、講座を開きたいというニーズが出てきています。全国の婦人会の活動を調べると、子どもを対象にした料理教室や親子を集めた講座が開催されていました。

阿南 地域のそうした活動は、教える側にとっても勉強になりますし、子どもたちにも喜ばれる、すごく良い学びの場になっています。

LIXIL 学校の授業は枠がありますが、校外活動であればより時間がとれるかもしれませんね。

長田 LIXIL でも、地域で取り組む方法をもっと考えても良いのではないかでしょうか。放課後の協力団体はたくさんあります。下校時間に皆でお掃除をしながら子どもたちを見守るなどいろいろな活動をしています。OB の力を借りてはいかがでしょう。



LIXIL OB の活用はすごくいいですね。実は OB の話ですが、引退した品質の担当者が製品を実際に使用すると、悪いところがよく分かるんですね。いろいろ指摘を受けますが、このパワーを Win-Win の形で活かせていません。

長田 消費者としての視点を持った社員を育てる必要がある、そこが改善点だと思います。

阿南 私が「消費者市民社会をつくる会」を立ち上げたのは、安全な製品を選ぶ力や製品を安全に使う力があまりにも低下していると感じたため、その力を消費者自身が学び、取り戻していくべきと思ったからです。その学びの場に企業も参加し、企業が安全な製品をつくるために込めた思いや安全に関する情報を消費者と共有し、学び合うことで、企業と消費者が協働して安全な社会をつくっていくことを目指しています。企業の技術開発が進むなか、年配者が必ずしも生活技術が高いわけではなく、全年代にわたって学びの場が必要です。地域の暮らしの現場で事業者と消費者の学びあいの場を持つことがポイントだと考えます。

LIXIL 最後に、LIXIL が製品安全という社会的要請に応えるためのアドバイスや期待について、お聞かせください。

長田 LIXIL の社員それぞれのご家族や周囲に、そして社員の中にも消費者とし

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | **課題別ダイアログ**
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

ての視点を持った方がいらっしゃると思います。ぜひそうした声を聞くことを大切にしてください。

阿南 LIXIL の取組を聞かせてもらい、地域の暮らしの現場で消費者の啓発を推進していく企業だと思います。今後も注目してまいります。

山崎 ウェッジウッドでは、規格番号を言えば昔の皿を 1 枚でも買えると聞いたことがあります。企業の DNA は、革新的な技術を開発することだと思いますが、10 年で部品がなくなるのではなく、自社で開発したものずっと持ち続けていく側面と、新たな技術を開発する側面を両立できれば、LIXIL の製品安全活動がさらに効果を発揮できると思います。



LIXIL資料館見学



LIXIL出席者

中山潤一

小島康夫

水野治幸

高久由香里

プロフィール紹介（五十音順）

阿南 久 Hisa Anan

一般社団法人消費者市民社会をつくる会 理事長

生活協同組合コープとうきょう理事、日本生活協同組合連合会理事などを歴任。その後、全国消費者団体連絡会の事務局長を経て、消費者庁長官（2012 年～2014 年）に就任。現在、一般社団法人消費者市民社会をつくる会を立ち上げ、消費者力を高めるための活動に従事するほか、雪印メグミルク株式会社社外取締役などを兼任。

長田 三紀 Miki Nagata

全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長

大学卒業後、東京都地域婦人団体連盟の事務局にて活動。これまでに、国民生活審議会委員（内閣府）他多数の審議会・研究会の構成員を歴任。現在も、情報通信行政・郵政行政審議会（総務省）、消費経済審議会（経済産業省）、産業構造審議会製品安全小委員会委員（経済産業省）など多数の委員を務める。

山崎 古都子 Kotoko Yamasaki

滋賀大学 名誉教授

滋賀大学の講師～教授を経て 2008 年より名誉教授。日本の住宅長寿化を進める上で生活者（特に男性）の居住力の向上が欠かせないことを提言、「住宅の長寿化から居住力を考察する」と題する講演などを精力的に実施。1998 年に、都市住宅学会論文賞、2004 年には都市住宅学会論文賞を受賞。

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する
情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

これまでのダイアログ一覧

第4回 製品安全ダイアログ

「消費者と積極的にコミュニケーションを取り、製品安全文化の向上を図る」

(2015年3月27日開催)

 [more >](#)

第3回 製品安全ダイアログ

「垣根を越えた協力関係の構築と、未来に貢献する製品安全文化の確立」

(2014年3月25日開催)

 [more >](#)

第2回 製品安全ダイアログ

「消費者に届き、行動に結び付く製品安全教育」

(2013年9月18日開催)

 [more >](#)

第1回 製品安全ダイアログ

「LIXILの取り組みと消費者教育」

(2013年1月9日開催)

 [more >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



お客さまのために

➤ ビジネスパートナーとともに

お客さまに、LIXIL の製品を安全に快適に使用いただくには、設計者や施工者の協力が欠かせません。

また駅などの公共施設やオフィス、ホテル、商業施設などにも多くの製品を納材しており、快適な空間づくりに貢献すると同時に、多くの方々に LIXIL 製品をご使用いただいている。LIXIL は、様々なビジネスパートナー、ビジネスユーザーの皆さまとともに、快適な暮らし、快適な街づくりに携わっています。

「観光名所トイレ おもてなし一斎清掃」－中四国支社

「観光名所トイレ おもてなし一斎清掃」は、2014 年、LIXIL 高知支店から始まり、2015 年からは対象エリアを中四国全域へ広げ、従業員だけでなく、LIXIL 製品の販売先であり、日ごろのビジネスパートナーである流通店など建築関係の皆さまにも声をかけ活動しています。



広島平和記念公園で集合写真

中四国地域は、国内外からの観光客が老若男女を問わず年々増加しています。来訪者へのおもてなしとして、地元の誇る観光名所を私たちできれいにしたい！との思いから、このトイレ美化活動は生まれ、水まわりのプロであり、地域で根を張って事業を行うビジネスユーザーの方々にも参加を呼びかけました。

2016 年は、総勢 727 名、うち約 3 割が、流通店をはじめ地域からの協力者で、全員一丸となって、広島県の原爆ドーム（平和記念公園）、岡山県の後楽園公園、愛媛県の松山城公園、島根県の出雲大社、など中四国地域を代表する観光名所 22 エリアのトイレを一斉清掃しました。



広島市内での清掃活動

活動時には、利用者や観光客から数多くの励ましの言葉をいただき、参加した建築関係者からは、「普段使っているトイレがこんなに綺麗になって、やってよかったです。清々しい気持ちでいっぱいです」との感想が届いています。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

LIXILは流通店をはじめ、地域でともに事業を行う企業とともに、地域全体を盛り上げ、利用者や観光客に愛され、喜ばれる街づくり、地域活性に取り組んでいます。

[ニュースリリースはこちら >](#)

熊本地震の復旧対応－株式会社 LIXIL トータルサービス

2016年4月14日、震度7を観測する余震が熊本市を襲い、16日の本震も加わり、震源地の益城町を中心に、家屋の倒壊など市内は大きな被害に見舞われました。株式会社 LIXIL トータルサービスでは、LIXIL 製品の被災による不具合に対応するため、個人のお客さまへの無料点検の実施や、ビジネスユーザーである株式会社ローソンの店舗復旧支援に全社を挙げて取り組みました。街のそこかしごにあり、生活に欠かせなくなったコンビニエンスストア。店舗の復旧によって、日常が戻っていくことは、災害復興の大切な一歩になると考えます。

[コンビニエンスストアの復旧はこちら >](#)

被災地の無料点検実施

LIXILでは、熊本県・大分県域で発生した熊本地震に係わる LIXIL 製品の無料点検を実施してきました。その中で、メーカーメンテナンスとしての対応を株式会社 LIXIL トータルサービス（以下 LTS）で進めてきました。

シャワートイレや電気温水器など、被災した電気製品については、予期せぬ不具合を引き起こす恐れがあります。地震発生後には、専門知識を持ったメンテナンスエンジニアが、全国各地からローテーションで駆けつけ、お客さまからのご依頼に対して、設備機器の点検作業や、開口系商品では2人1組で被災地を巡り、応急処置や対処方法の説明、部品交換などを実施しました。

9月末までに、トイレや水栓金具など水回り設備機器 約2,550件、窓・ドアな

ど 約920件、合わせて約3,500件のご依頼に対応してきました。9月末で無料点検の受付期間は終了となりましたが、揺れによって歪んでしまったドア枠や窓、門扉、施錠できなくなった窓の不具合などの依頼や対応は継続しています。LTSは、お客さまの安全を最優先し、安心して暮らせるサービスの提供を目指しています。そのためにも、緊急時や災害時の点検・対応は大変重要であると考え、体制づくりや標準化を進めています。



ドア本体が歪み、扉が閉まらない場合や、鍵の受け部分が変形して窓が施錠できないなど、一見では不具合が分かりにくいケースも多いですが、防犯上、玄関や窓の開閉や施錠は、たいへん重要です。専用工具で補修したり、部品の取り換えを行ったりします。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

株式会社 LIXIL トータルサービス



株式会社 LIXIL トータルサービスは、LIXIL グループ内の工事・メンテナンスをワンストップで提供する LIXIL の子会社で、製品の販売、加工、施工、アフター メンテナンスや、消耗品の通信販売、建築工事の設計・施工管理を行います。専門技術・技能を持ったプロフェッショナルを組織化し、LIXIL 製品のトータルソリューションを支えています。

[公式サイトはこちら >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

熊本地震の復旧対応 －株式会社 LIXIL トータルサービス

2016年4月14日、震度7を観測する余震が熊本市を襲い、16日の本震も加わり、震源地の益城町を中心に、家屋の倒壊など市内は大きな被害に見舞われました。株式会社 LIXIL トータルサービス（以下 LTS）は、震災発生の1か月ほど前、サービス事業として、株式会社ローソン（以下、ローソン）の店舗整備を請け負っていたこともあり、余震直後の15日、ローソンから復旧応援の依頼を受理しました。

コンビニエンスストアの復旧

災害発生時、街のアチコチにあるコンビニエンスストアは、救援物資の提供拠点となり、大手各社は、水やおにぎりの配布など、いち早く活動されていました。ローソンは熊本県下に141の店舗があり、支援物資が届いているものの、店舗配送員も被災し、物資を店舗に並べることは難しい状況でした。ショーケースの破損など、店内も営業できる状況ではありませんでした。東京から現地入りしたLTS本社スタッフは16~19日に、まず被害状況の把握から開始。ローソンのスタッフと手分けして、141店舗の状況を調査し、店舗ごとの被害の程度に合わせて、復旧計画を立てました。

早期復旧には、ショーケースやカウンターなど什器の移動や電気配線の確認・工事、窓やドアの改修整備など、加工・メンテナンス技術を持ったスタッフが、効率よく動くことが大切です。現場で臨機応変に判断し、作業できる対応力も求められます。

全店舗の状況把握と同時に、23,24日の週末で一気に作業を完結させるよう、福岡や鹿児島をはじめ日本各地の支店へ応援要請を行いました。LTSの各支店長やサービス事業を共に行っているビジネスパートナーが、復旧したばかりの九州新幹線やフェリーなどで熊本に駆けつけました。熊本県内からの応援部隊には自身

も被災し、避難所から通っている人もいました。余震が続くなか、5人一組の作業班を編成、熊本営業所を指令塔に、一部作業者は営業所に宿泊して、作業に当たりました。

14日の余震から10日後、23日午後には、延291名で139店舗の一時復旧を完遂し、ローソンの営業が再開されました。今や生活に欠かせないコンビニ。日常生活が戻ることは、災害復興において大切な一步です。2011年、東北大震災とは規模は違いますが、当時ローソンは営業復旧に1か月半かかったそうです。今回の迅速な活動に対してLTSは、株式会社ローソン開発本部から感謝状をいただきました。現在、LTSは災害時の復旧対応マニュアルを整備中です。

作業風景、復興本部の様子



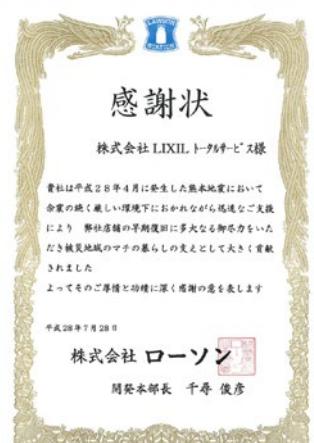
震災直後



復旧作業中



復旧作業終了



ローソンからの感謝状

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



▶ 地域社会の中で

LIXILは世界各地で事業展開し、日本国内においても40の生産拠点、100を超える営業拠点が、それぞれの地域社会の中で事業活動を行っています。グローバルな視点で考え方、社会を構成する一員として、ビジネスにとどまらず、地域社会にしっかりと根付いて協働することが重要だと考えます。各地域には、そこで生活を営む市民の皆さまをはじめNPO、行政、教育関係者、地元企業など、いろいろな人たちがいます。街には歴史があり、その周りには山や川、海があります。事業を営む地域の中で、LIXILができることについて考え、話し合い、実行しています。



地域との対話

各拠点でダイアログを開催しています。北海道道北支店の対話の概要や、愛知県半田工場や新潟支店の地域での活動の様子を紹介します。

[more >](#)



自然環境の保全

三重、茨城、長野、千葉の各拠点従業員が中心となって、里山や森林など地域の豊かな自然生態系を守る活動を継続しています。

[more >](#)



復興支援

LIXILは、製品・資材提供、資金援助や人材派遣など、それぞれの要望に応じ、海外も含めた被災地の復興支援に取り組んでいます。

[more >](#)



寄付、協賛、共催

環境負荷低減への支援や地域の活性化を促進するため「低炭素杯2016」への共催や、トライアスロン国際大会への協賛を行っています。

[more >](#)

関連リンク

[ビジネスパートナーとともに >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに



地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

LIXIL グループの工場、営業拠点、店舗では、地域住民の皆さまと従業員が対話する「コミュニティ・ダイアログ」を開催しています。まずはお互いを知り、商品・サービス、環境、防災、学校・教育、交通、自治会関係など幅広い分野で地域の課題について意見交換し、LIXIL が持続的に貢献できることを見出していくます。

2015 年度は、営業 15 拠点、LIXIL ビバ 3 店舗、川島織物セルコン市原事業所でコミュニティ・ダイアログを実施しました。地域で活躍するさまざまなステークホルダーの方々に参加いただき、協働や交流、地域貢献について活発な議論を交わし、開催後はそれぞれの拠点が、それぞれのやり方で様々な活動に取り組んでいます。ここでは、北見で行った対話概要と、半田工場および新潟支店のその後の活動を紹介します。

北見市の地域の皆さまとの対話—北海道支社 道北支店

北見ショールームは、国内で最も東端にあり、営業所員 15 名、ショールームスタッフ 5 名の LIXIL では、比較的小規模の拠点です。

2006 年に開設し、これまで地域の方とともに定期的にイベントを開催したり、月 2 回の清掃活動などを行ってきましたが、より地域に密着したショールームを目指し、2016 年 2 月地域ダイアログを実施しました。



地域の町内会長さまはじめ、市役所や社会福祉法人の方、保育士さんや中学校教頭先生など、様々な立場で活動されている皆さまと意見交換しました。会社も社会も変化していく中で、お互い顔の見える間柄となり、これからより良い関係づくりのスタートとなりました。

[対話内容はこちら >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

近隣保育園の防災活動に協力－半田工場

愛知県半田市にある半田工場は、1964年から操業しており、キッチンや浴室で使われる水栓金具などを主に製造しています。

半田工場では以前から、交通安全の立哨やインターンシップの受け入れ、障がい者雇用などを行ってきましたが、2013年11月に第1回の地域ダイアログ開催を機に、行政や地域とのコミュニケーションを強化し、オープンで地域に信頼される関係づくりに努めてきました。



2015年3月の第2回ダイアログで、近隣保育園の園長先生から「職員が女性ばかりで災害時に避難できるか不安に感じています」との声をきっかけに、年2回の保育園の防災訓練に協力しています。

2015年11月の「震度7」「津波発生」を想定した訓練

では、同地区的安藤製作所の皆さんと一緒に、高台の公園まで園児186名を避難させる合同訓練に6名が参加。急な坂道を汗だくになりながら、乳児を乗せた避難車を押したり、幼児の手を引いて誘導しました。地域の企業が協力して地域防災に貢献していくことも大切な活動です。園児からは「ありがとう！」の言葉もいただきました。

半田工場では、半田市教育委員会のゲストティーチャー制度を利用した出前授業を16年度から開始しています。生産工場として、排水や排気の汚染防止や環境負荷低減活動はもとより、地域社会と関わり、オープンな工場を目指した活動を継続することで社会からの信頼を獲得していきます。

小学校6年生の職業体験実施－北関東支社 新潟支店

新潟支店は、上越新幹線新潟駅から車で10分ほどにあり、営業所員80名ほどの中規模の営業拠点です。2007年からショールームとして開設しており、12名のショールームスタッフが工務店や設計者の方、製品を購入予定のお客さまの接客を行っています。

2015年1月から支店スタッフが、まず自治会やコミュニティ協議会へ足を運びました。小学校や民生委員の方を紹介いただきながら、ダイアログの準備を進めましたが、それまで学校をはじめ地域の要望に向き合ってこなかったことにあらためて気づかされ、それを反省しながら、4月のダイアログに臨みました。



開催後は、「LIXILさんに行ってみたい」というかねてからの子どもたちの要望に応え、女池小学校2年生の『町探検』で新潟ショールームを見学してもらいました。その後11月には、6年生を対象とした『職業体験学習』も実施。ショールームでの受付業務やお客様への呈茶、開館前の清掃などを体験してもらい、児童から参加したお礼が丁寧に書かれた「感謝状」をいただきました。日々の業務への子どもたちの新鮮な感想に、従業員も元気をもらっています。LIXILからは、出前授業「水から学ぶ」や「製品安全教育」の教材を紹介し、継続したコミュニケーションを図っています。地域ダイアログは、従業員が想像している以上に、地域からのLIXILへの関心の高さに気づく機会にもなっています。

[これまでの開催拠点はこちら >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

北見市 地域の皆さまとの対話－北海道支社 道北支店

地域の町内会長さまはじめ、市役所や社会福祉法人の方、保育士さんや中学校教頭先生など、様々な立場で活動されている皆さまと意見交換しました。

日時	2016年2月26日
開催場所	LIXIL 北海道支社 道北支店（北見営業所・北見ショールーム）
社外ステークホルダー	夕陽が丘町内会 町内会長 北見市役所 市民環境部 環境課 環境保全係 社会福祉法人 北見福祉会 夕陽ヶ丘認定こども園 保育士 2名 オフィスみついし 代表 国際ハーブヨガセラピスト ウイズ・プランニング 代表 高栄中学校 教頭
株式会社 LIXIL からの参加者	松本 一也（道北支店 支店長） 村上 史郎（道北支店 北見営業所 所長） 横川 和享（道北支店 北見営業所 販売店課） 岩佐 澄恵（道北支店 営業部 キャンバサー） 四栗 友香（道北支店 営業部 キャンバサー） 小野 美里（道北支店 営業部 キャンバサー） 三上 多美（北見ショールーム マネージャー） 佐々木 摩美（北見ショールーム コーディネーター） 佐々木 理江（北海道支社 人事総務グループ グループリーダー） 加藤 圭葉（広報部 主査） 畠山 彩（広報部 主査）
ダイアログでの話題	地域とのかかわりやイベントなど LIXIL が協力できることについて

※所属・役職名は、ダイアログ開催当時の名称です。

地域の声を聞く

まず北見の地域性について教えていただき、LIXILへの要望や日頃の感想をうかがいました。

ショールーム周辺地域の宅地開発は昭和54年くらいに始まりました。現在は少しずつ世代交代も進んでいますが、かなり高齢化しています。町内会としては高齢者の見守りをどうするのかという課題があります。近くに住んでいる縁もありますから「挨拶する・声を掛ける・迷惑をかけない」という心がけが大事だと思っています。LIXILの職員の方々には、いつも笑顔を絶やさず挨拶、会釈をしていただき、元気をもらっています。



市の人口は年々減っています。小さいお子さんは地域の宝なので、声掛けや温かい目で見守っていただきたいです。LIXILさんがこども110番に加盟しているなど、地域への姿勢を知ることができましたが、これからは付き合い方が変わってくると思います。

LIXILさんとは縁があって毎年場所をお借りして、小さいお子様向けの「ままごとキッチン」という体験型イベントを開催しています。毎年新しい企画を取り入れることで、子供たちにも「北見ってこんなに楽しい」「センスのあるものがある」と思ってもらい、地域貢献を当たり前のこととして感じてもらいたいと思っています。

北見市には心のサポートをするセラピストさんが沢山いて、札幌や東京、業界からも注目されていますが、認知を広げるために LIXIL さんのイベントの開催な

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する
- | 情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

ど、活動の場として使わせていただきたいです。健康に関する料理教室も開催してみたいです。

LIXIL 参加者のコメント

地域で活動されている方々からお話を伺い、自分たちが感じているよりも、皆さんの想いがもっと深くあることがわかりました。私たちがお手伝いできることからとなります、こども 110 番やイベントの場の提供、バスの待合室、雨宿りなどにショールームを活用いただき、さらに皆さまと深くお付き合いをさせていただきたいと思っています。

私たちはものづくりの会社で、良い製品を提供したいという想いがありますが、会社の変化や社会の流れも変わりゆく中で、顔の見えない関係ではなく、このように皆さんに、LIXIL のことを少しでも知っていただけたら嬉しいです。今後も皆さまとの対話を継続していきます。

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

過去の開催拠点一覧

各拠点での初回開催の結果を掲載しています。
開催後はそれぞれの拠点で、地域の声を取り入れた活動に取り組んでいます。

株式会社 LIXIL 生産拠点

*組織名は、ダイアログ開催当時の名称です。

2014 年度までに、39 工場で実施。

[2012 年度詳細 >](#) [2013 年度詳細 >](#) [2014 年度詳細 >](#)

<開催拠点一覧（開催日順）>

2012 年

下妻工場（茨城県下妻市）藤花工場（茨城県下妻市）

2013 年

石下工場（茨城県常総市）大谷工場（愛知県常滑市）有明工場（熊本県玉名郡長洲町）一関工場（岩手県一関市）岩井工場（茨城県坂東市）横浜工場（神奈川県横浜市緑区）半田工場（愛知県半田市）大和工場（茨城県桜川市）伊吹工場（岐阜県不破郡垂井町）久居工場（三重県津市）名張工場（三重県名張市）青山工場（三重県伊賀市）土浦工場（茨城県土浦市）知多工場（愛知県知多市）筑波工場（茨城県つくば市）鹿島工場（佐賀県鹿島市）櫻戸工場（愛知県常滑市）佐賀工場（佐賀県多久市）小山工場（栃木県小山市）尾道工場（広島県尾道市）熊山工場（岡山県赤磐市）桐生工場（群馬県桐生市）小矢部工場（富山県小矢部市）東濃工場 明智製造（岐阜県恵那市）

2014 年

上野緑工場（三重県伊賀市）伊賀上野工場（三重県伊賀市）栗沢工場（北海道岩見沢市）彦根工場（滋賀県彦根市）沖縄工場（沖縄県宜野湾市）深谷工場（埼玉県深谷市）常滑東工場（愛知県知多郡東浦町）須賀川工場（福島県須賀川市）立野工場（富山県高岡市）社工場（兵庫県加東市）前橋工場（群馬県前橋市）柏川工場（群馬県前橋市）可児工場（岐阜県可児市）

※沖縄工場は、沖縄支店と合同開催。概要是営業拠点 2014 年度詳細をご覧ください。

株式会社 LIXIL 営業拠点

[2012 年度詳細 >](#) [2013 年度詳細 >](#) [2014 年度詳細 >](#)

<開催拠点一覧（開催日順）>

2012 年

横浜港北（神奈川県横浜市都筑区）

2013 年

四国支社 高松支店（香川県高松市）埼玉支社 熊谷支店（埼玉県熊谷市）北海道支社 札幌支店（北海道札幌市東区）東京支社 立川支店（東京都立川市）中国支社 山口支店（山口県山口市）東北支社 青森支店（青森県青森市）千葉支社 船橋支店（千葉県船橋市）

2014 年

九州支社 沖縄支店（沖縄県宜野湾市）北陸支社 石川支店（石川県金沢市）中部支社 名古屋支店（愛知県名古屋市天白区）北関東支社 群馬支店（群馬県高崎市）四国支社 徳島支店（徳島県徳島市）北海道支社 道東支店（北海道帯広市）関西支社 滋賀支店（滋賀県草津市）関西支社 姫路支店（兵庫県姫路市）埼玉支社 川越支店（埼玉県川越市）北関東支社 山梨支店（山梨県甲府市）中国支社 山陰中央支店（鳥取県米子市）四国支社 松山支店（愛媛県松山市）北陸支社 福井支店（福井県福井市）東北支社 福島支店（福島県郡山市）九州支社 熊本支店（熊本県熊本市）千葉支社 南千葉支店（千葉県木更津市）東京支社 東京南支店（東京都世田谷区）

2015 年

北関東支社 新潟支店（新潟県新潟市）中四国支社 高知支店（高知県高知市）神奈川支社 湘南支店（神奈川県相模原市）北関東支社 長野支店（長野県長野市）千葉支社 千葉支店（千葉県成田市）北陸支社 富山支店（富山県富山市）東北支社 秋田支店（秋田県秋田市）中四国支社 広島支店（広島県広島市）北海道支社 道北支店（北海道北見市）中部支社 静岡支店（静岡県浜松市）東北支社 山形支店（山形県山形市）九州支社 鹿児島支店（鹿児島県鹿児島市）関西支社 阪奈支店（大阪府堺市）

ステークホルダー
エンゲージメント

お客様のために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

株式会社 LIXIL ビバ 店舗

[PDF 2012 年度詳細 >](#)[PDF 2013 年度詳細 >](#)[PDF 2014 年度詳細 >](#)

<開催拠点一覧（開催日順）>

2012 年

スーパー・ビバホーム岩槻店（埼玉県岩槻市）

2013 年

スーパー・ビバホーム伊丹店（兵庫県伊丹市）スーパー・ビバホーム手稲富丘店（北海道札幌市手稲区）

スーパー・ビバホーム清田羊ヶ丘通店（北海道札幌市清田区）

2014 年

スーパー・ビバホーム寝屋川店（大阪府寝屋川市）スーパー・ビバホーム加須店（埼玉県加須市）スーパー・ビバホーム新名取店（宮城県名取市）スーパー・ビバホーム岐阜柳津店（岐阜県岐阜市）スーパー・ビバホームちはら台店（千葉県市原市）

2015 年

スーパー・ビバホーム仙台中山店（宮城県仙台市）スーパー・ビバホーム高崎店（群馬県高崎市）スーパー・ビバホームさいたま新都心店（埼玉県さいたま市）

※ [LIXIL ビバの公式ホームページ](#) でも活動概要を紹介しています。

そのほかの開催事業会社

株式会社川島織物セルコン

2015 年 市原事業所（京都府京都市左京区）



ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | **自然環境の保全**
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



地域社会の中で

自然環境の保全

LIXILは地域の豊かな自然を守り地域社会に貢献するため、行政やNPO、森林組合などと協働し、森や里山の環境を保全するボランティア活動「森でeこと（もりでいいこと）」に取り組んでいます。活動は三重県、茨城県、長野県の3ヵ所を拠点に、春と秋の年2回実施しています。各県で働く従業員を中心に、これまでおよそ3,500人が参加し、活動を通して地域と交流しながら身近な自然を守ることの大切さを学んでいます。

また、千葉県の野田事業所と七光台事業所では、2013年から、田んぼでの米作りを通して、多様な生き物の大切さを学ぶ「野田んぼ いきもの教室」を活動しています。

活動の狙い

LIXILのあらゆる事業活動は、自然からのさまざまな資源の供給と生態系の浄化作用・調節作用（生態系サービス）を基盤としています。私たちは、木材をはじめとする資源調達や製造場面での配慮はもちろん、自然環境への負荷を少しでも軽くするため、事業所近辺の生物多様性の場である地域の里山や森林の保全活動も行っています。

この活動は、生物多様性の維持、地球温暖化防止だけでなく、地域の水源の保全や、山崩れなどの災害防止にもつながります。こうした活動に取り組むことによって、

従業員一人ひとりの地域コミュニティへの参加の推進や、社会意識の向上を図っています。

三重県での活動「森で e こと」

三重県の活動は2008年、県が進める「企業の森」に賛同し、三重県、伊賀市と共に森林保全協定を結んだのが始まりです。県内には、上野緑工場、伊賀上野工場、青山工場、名張工場、久居工場といった5つの生産拠点があります。



2015年度からは県内の森林施業認定NPO法人「森林の風（もりのかぜ）」との協働を開始し、森林保全活動の企画・技術指導を受けています。「森林の風」は荒廃する水源の森を守るために、"施業のセミプロ"を目標に2005年に設立した団体で、大手電力会社や食品会社など11社と協働で森林保全活動を行っています。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | **自然環境の保全**
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

LIXILは、森林組合から2.76haの土地を借り受け、植樹、獣害防止ネットの設置の活動に、工場を中心に従業員やその家族が参加し、環境保全への意識を高めています。

[三重県「企業の森」公式サイト >](#)
[森林施業認定NPO法人「森林の風」公式サイト >](#)

森林施業 認定NPO法人「森林の風」 代表 瀧口邦夫

2015年度からLIXILと森林環境保全活動を共に進めています。我々は荒廃する水源の森を守るために、"施業のセミプロ"となることを目標とする団体です。

LIXILとの「森でeこと」の活動は、三重県だけではなく、大阪府の水源の森を守ることにもつながっており、活動の広がりや影響の拡大を感じます。森林環境保全活動は、草木の名前を覚えることから始まり、枝打ち、間伐など、作業は実に多岐にわたります。

人手が掛かることも多く、企業と協働することで多くの人々の手が森林に入り、短時間で作業を進めることが可能になります。また樹木や自然生態系に興味を持ってもらう機会にもなり、意義を感じています。

近年は、森に関心を持つ企業や人が増え、とてもうれしく感じています。今後も安全な活動を最優先に、共に汗をかき、共に学びながら森林の活動の中で達成感を共有したいと考えています。



茨城県での活動「森でeこと」

茨城県には、筑波工場をはじめ、石下工場、岩井工場、下妻工場、土浦工場、藤花工場、大和工場といった7つの生産拠点があります。

2009年、認定NPO法人「宍塙の自然と歴史の会」(以下、「宍塙の会」)と協働し、土浦市宍塙にある里山の保全を開始しました。



「宍塙の会」は、小川、ため池、雑木林、田んぼなど、多様な環境が存在する100haほどの宍塙の里山を、未来に残す活動をしている団体で、日本ユネスコ協会連盟から「プロジェクト未来遺産」に登録されるなど、国内で高く評価されています。

宍塙は、オオタカやフクロウなどの大型の鳥類やアカガエル等の両生類、小さな昆虫などが生息する豊かな自然が残る里山で、周囲には宍塙古墳群や貝塚など歴史的にも重要な場所です。

LIXILは、雑木林の下草刈りや谷戸と呼ばれる湿地の水源や水路の整備、在来種にとって脅威となる外来種の撤去など、里山保全で特に人手が必要な部分をボランティアで行っています。

[認定NPO法人「宍塙の自然と歴史の会」公式サイト >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | **自然環境の保全**
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

認定 NPO 法人「宍塙の自然と歴史の会」 理事 児玉正人（LIXIL 土浦工場 加工課）



私は 2012 年、「森で e こと」の茨城県での活動をきっかけに宍塙の会に入会しました。宍塙の人と自然に魅了され、理念と事業に共鳴し、今では理事として運営にかかわっています。

「森で e こと」には、社内の部門の枠を越えて多様な人たちが集まります。肩書きを外し、普段着で取り組む保

全活動では社会貢献にとどまらず、コミュニケーションの活性、チームワークの醸成の場にもなっています。

そこで生み出される善良で大きなパワーは、里山の手入れ・再生を一気に押し進めます。会員だけでは何ヵ月も掛かることが 1 日にして成し遂げられるのです。宍塙の会では「さすがは LIXIL！」と、その成果は大変に評価、感謝され、今では欠かせないものとなっています。

これからも LIXIL 社員として、宍塙の会の会員として、一個人として、みんな良し未来良しの仕組みづくりに努め、持続可能で豊かな価値の "協創" に寄与すべく、無限の可能性にチャレンジして参ります。

長野県での活動「森で e こと」

長野県では「森林の里親促進事業」に参加し、2009 年から下伊那郡阿智村で森林保全活動を行っています。約 16ha の森を借り受け、間伐、整理伐を実施し、1,400m にわたって作業道を完成させました。作業道をメンテナンスしたり、間伐や炭原木の切り出しを行うなど、森林整備を中心活動を継続しています。



[長野県「森林（もり）の里親促進事業」公式サイト >](#)

千葉県での活動「野田んぼ いきもの教室」



千葉県にある野田事業所と七光台事業所では、田んぼでの米作りを通して、多様な生き物の大ささを学ぶ「野田んぼ いきもの教室」を、千葉県野田市の水田型市民農園（野田市江川地区）で 2013 年度から活動しています。

野田市は、国の特別天然記念物「コウノトリ」の野生復帰を目指して、2012 年 12 月に多摩動物公園からコウノトリのつがいを無償で譲り受け、市民農園に併設する施設で飼育を開始しました。2015 年には幼鳥 3 羽、2016 年 6 月には幼鳥 2 羽を試験放鳥し、観察を続けており、その内 1 羽は、市民農園の田んぼで餌を探っています。

ステークホルダー
エンゲージメント

お客様のために

- | 安全に関する
- | 情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | **自然環境の保全**
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



イトミミズ、カエル、ヘビ、ドジョウやナマズといった食物連鎖の上位にあるコウノトリが暮らしていくためには、多様な生き物が育つ環境が必要です。「野田んばいきもの教室」では、多様な生物の棲み家となる減農薬の田んぼで米作りし、生物多様性維持の大切さを学んでいます。

2015年度は4月の田植えから始まり、草刈りや自然観察会、ホタル観察会、稲刈りまで、全6回、従業員や家族を合わせ延155人が、活動しました。

2016年6月には、従業員や家族など19名が、田んぼに棲むオタマジャクシやヤゴ、トンボに気を使いながら草取りを行いました。昼食時には、2016年生まれのコウノトリ「ひかる君」が飛来し、田んぼでの作業が、生物の生息環境の整備につながり、人間も生き物と共生、共存していることを実感しました。



LIXILは、自然に親しみ、森や木を育む気持ちや活動継続の大切さを、次世代へ伝えています。参加を機に、環境問題や社会貢献活動に興味を抱き、活動を始める従業員も現れています。何年もかけて育つ樹木のように、長く将来にわたって実を結

び続けることを目指して、一つ一つの活動を積み重ねてまいります。

「森でeこと」の最近の活動について

[PDF 2015年10月三重、長野、6月茨城の活動はこちら >](#)

ニュースリリースも合わせてご覧ください。

[2016年春 >](#) [2015年秋 >](#) [2015年春 >](#)
[2014年秋 >](#) [2014年春 茨城 >](#) [2014年春 長野 >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | **復興支援**
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



2011年3月11日、東北地方を未曾有の災害が襲いました。LIXILは震災発生直後から、支援金の寄付、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」への協賛、「みんなの家」伊東豊雄氏プロジェクトへの製品寄贈、社員参加のチャリティイベントなど、さまざまな支援を行ってきました。5年半が経過しました今も、製品寄贈やイベントへの協賛などを続けています。

また、地震や火山噴火ばかりではなく、地球温暖化、気候変動に起因するといわれる異常気象、大型台風や集中豪雨、豪雪なども毎年のように多発しています。LIXILでは、製品・資材提供、資金援助や人材派遣など、被災地の要望に応じ、海外も含めた復興を支援しています。

2016年4月、地震の被害が甚大だった熊本県では、子会社である株式会社 LIXIL トータルサービスが、無料点検の実施やコンビニエンスストアの復旧に尽力しました。

[ビジネスを通した復興支援活動についてはこちら >](#)

製品寄贈

住まいや各施設の建材や設備を整備することは、生活の基盤を整えることにつながります。LIXIL 製品が、安心して快適に過ごせる空間づくりに役立ち、復興を推し進めるみなさまの元気を支える一助となることを願い、支援を行っています。

みんなの家—熊本 益城町テクノ仮設団地

LIXILは、「熊本地震で被災された方々に、少しでも安らぎを感じていただきたい」という想いのもと、熊本県・くまもとアートポリスが進める「みんなの家」プロジェクトの趣旨に賛同し、『益城町テクノ仮設団地 本格型みんなの家』の建設に協力し、窓やトイレ、キッチンなどのLIXIL 製品を提供しました。(2016年12月竣工)

[みんなの家 公式サイト >](#)

[ニュースリリースはこちら >](#)



みんなの家 外観



内観



みんなのトイレ

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | **復興支援**
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

みんなの遊び場プロジェクト in 南相馬

LIXILは、「子どもたちを笑顔にしたい、子どもの笑顔にふれた大人たちも元気にしてほしい」という活動趣旨に賛同し、『南相馬 みんなの遊び場』の建設に協力し、窓やドア、トイレ、手洗い、タイルなどのLIXIL製品を提供しました。(2016年6月竣工)

[みんなの遊び場プロジェクト in 南相馬 公式サイト >](#)
[ニュースリリースはこちら >](#)



みんなの遊び場 外観



手洗い



トイレ

寄付、協賛

[IPPO IPPO NIPPON プロジェクト](#)への継続支援など、一日も早い復興を後押しし、街や生活する人たちを元気にすることを目指すプロジェクトや、有志による活動、NPO・NGO団体などへの寄付を通して、震災からの復興を応援しています。

fukushima さくらプロジェクト

復興を願い、福島や東北、さらには全国を応援することを目的とした「fukushima さくらプロジェクト」に協賛しています。さらに「福島プロジェクトマッピング 2016 はるか～白河花かがり～」のビジュアルイメージを焼き付けたフォトタイルを制作し、白河文化交流館「コミネス」寄贈しました。

[fukushima さくらプロジェクト 公式サイト >](#)
[ニュースリリースはこちら >](#)



白河文化交流館「コミネス」
プロジェクトマッピングの様子



左：白河市長 鈴木和夫氏、右：東北支社
福島支店長 瀬戸桂
フォトタイルの贈呈。

女川温泉ゆぽっぽタイルアートプロジェクト

津波で全壊したJR石巻線の終着駅「JR女川駅」と女川町温泉施設「女川温泉ゆぽっぽ」の復興再建プロジェクトに賛同し、その一環として行われた「女川駅」合築の温泉施設をタイル壁画で彩る「女川温泉ゆぽっぽ タイルアートプロジェクト」に協力しています。(2015年3月竣工)

[女川温泉ゆぽっぽタイルアートプロジェクト 公式サイト >](#)
[ニュースリリースはこちら >](#)



ステークホルダー

エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | **復興支援**
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

人材派遣

寄付や製品・資材の提供にとどまらず、従業員自身が作業者として汗を流したり、スキルを生かして地域に貢献する活動も行っています。従業員自身の意識変革や啓発につながる貴重な体験となっています。

東北未来創造イニシアティブへの出向



村田 茂則【2015年4月～出向中】

震災からすでに5年が経ちました。新たな建物が建ち始め、着実に復興しつつありますが、大船渡の本格的なまちづくりはこれからです。「水産のまち大船渡」として、まちの経済復興に向けて地域のリーダーやまちの皆さんと共に考え、共にさまざまな課題をクリアしていくよう全力で伴走していきます。大きく変わろうとしているこの時、この大船渡で、一緒に復興に向けて取り組めることを感謝し、この街の輝かしい未来のために精一杯頑張ります。

[東北未来創造 公式サイト >](#)

東日本大震災への主な復興支援

社員参加による
チャリティイベント協賛

- SMILE AGAIN ~ YELL from KASHIMA (2011年)
- 第2回アイアンマン70.3セントレア常滑ジャパン(2011年)
- キッズワークショップカーニバル (2012年～)
- LIXILショールーム高松チャリティコンサート (2013年、2014年) など

チャリティイベント協賛	みちのくフォトプロジェクト (2011年) 東北六魂祭 (2012年、2013年) VOICES meets Romantic Beat -Pray for Moon- (2012年) fukushima さくらプロジェクト (2014年～) など
人材・ボランティア派遣	東北未来創造イニシアティブ (2013年～) 住まいの修繕 ボランティア (2014年)
製品寄贈	石巻市北上町白浜復興住宅プロジェクト 工学院大学 (2011年) みんなの家 伊東豊雄プロジェクト (2011年～14年) 『宮城野区みんなの家』「岩沼みんなの家」「陸前高田みんなの家」 『釜石市商店街みんなの家』「釜石みんなの広場」 東松島市立矢本東保育所 セーブ・ザ・チルドレンジャパン (2012年) 石巻市鹿妻コミュニティセンター (財) フェール城桜協会 (2012年) 福島県南相馬市小高区塙原行政区集会所 (2014年) 子どもの村東北 NPO 法人 SOS 子どもの村 (2014年) 女川温泉ゆぽっぽ タイルアートプロジェクト (2014～15年) みんなの遊び場プロジェクト in 南相馬 (2015～16年) 馬と暮らす曲がり家 一般社団法人三陸駒舎 (2015～16年)
寄付・協賛	IPPO IPPO NIPPON プロジェクト (2011年～) NGO ハビタット・フォード・ヒューマニティ・ジャパン (2014年)

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | **復興支援**
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

そのほかの災害復興支援

年	災害	支援内容
2011 年	タイ洪水被害	義援金
2013 年	フィリピン台風ハイエン（台風 30 号）災害	支援金、支援物資
2014 年	広島市土砂災害	社内募金、支援物資、ボランティア派遣
	ネパール中部地震	支援金
2015 年	台風 18 号 関東・東北豪雨	支援金、社内募金
	熊本地震	支援金、社内募金、 製品の無料点検
2016 年		

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

地域社会の中で

› 寄付、協賛、共催

日本の各地域では、自然災害ばかりでなく、少子・超高齢化にともなう労働人口の減少をはじめ、さまざまな社会課題が顕在化してきています。

LIXILは、災害復興支援にとどまらず、コミュニティの活性化や地域での環境負荷低減活動など、地域社会のための活動を行っている団体や教育機関などに、寄付、協賛などの支援を行っています。

低炭素杯 2017 共催

「低炭素杯」は、低炭素社会の構築に向けて、学校・家庭・有志・NPO・企業などの多様な主体が、全国各地で展開している地球温暖化防止に関する活動を報告し合うことでノウハウや情報を共有し、連携の輪を広げていく活動です。LIXILは低炭素杯の理念に深く共感し、2011年の初回から共催しています。



2017年2月開催の「低炭素杯 2017」では、モトスミ・ブレーメン通り商店街＆グリーンコンシューマーグループかわさきの取り組み「モトスミ・ブレーメン通り商店街のエコ調査隊」を、LIXIL 最優秀エコライフ活動賞に選出しました。

この活動は、商店街事業主、市民団体、学校が連携し、買い物を通して環境配慮行動を普及させるものです。商店のエコ活動を市内の小学生が調査分析することで、相互に啓発しあう持続的な活動となっていることを高く評価しました。

[\[モトスミ・ブレーメン通り商店街\] 公式サイト>](#)

[\[低炭素杯公式サイト>\]](#)

[\[ニュースリリースはこちら>\]](#)

[\[低炭素杯 2016 のニュースリリースはこちら>\]](#)

トライアスロン国際大会

アイアンマン 70.3 セントレア知多半島ジャパン特別協賛

スポーツを通じた地域への貢献を目的に「アイアンマン 70.3 セントレア知多半島ジャパン」に毎年メインスポンサーとして協賛しています。今大会は2016年6月12日に開催され、国内外から集まったアスリートたちが、「アイアンマン 70.3 世界選手権」の出場権をかけ、ハイレベルなレースを展開しました。LIXILからは選手や運営・応援のボランティアとして200名を超える従業員が大会を盛り上げました。



[\[アイアンマン 70.3 公式サイト>\]](#)

[\[ニュースリリースはこちら>\]](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する
情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

寄付・協賛

LIXILは災害復興支援や文化的な活動への協賛のほか、CR戦略の柱の一つである衛生課題解決のための寄付や、ユニバーサルデザイン、IoTなど、持続可能な開発を視野にいれた研究開発機関などへの支援を行っており、寄付や協賛の規模や範囲は多岐にわたります。

たとえば、国内拠点では、コミュニティの活性化や防犯・安全対策に取り組む地域の商工会や自治会など各種団体に、拠点の状況を踏まえて加入し、協働しています。具体的には、地方都市でのお祭りや町おこしなどのイベント協賛・寄付など、小さな規模での活動も行われています。

一方、高額寄付・協賛についてはCEOが委員として出席する「寄付行為およびコンサルティング等審査委員会」で目的・用途とその成果を厳しく審議し、寄付・協賛先を選定しており、LIXILの資産を適切に、効果的に社会還元できるよう努めています。

寄付額および詳細は、今後、Globalサイト（サステナビリティ）で報告予定です。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



▶ 未来世代のために

2030年までに貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を追求する一大胆かつ新しい開発目標が、2015年9月、ニューヨークで開催された「国連持続可能な開発サミット」で、193の加盟国全会一致で採択されました。「貧困をなくす」「健康と福祉」「質の高い教育」「ジェンダー平等」など17の「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) *」と169のターゲットなどが掲げられ、あらゆる国で誰一人として置き去りにしないことを目指した取り組みが世界で始まっています。

世界では、3人に1人がトイレのない生活をしていること。水は有限で偏在し、誰もが同じように享受できているわけではないこと。性別や年齢、国籍、障がいの有無、文化の違いなどによる差別や偏見が今も存在していること。

私たちLIXILは地球や世界の現状から目をそらさず、未来を担う子どもたちが、健やかで安心して暮らしていくよう、できることから取り組んでいます。



伝え、ともに学ぶ

「水から学ぶ」、「トイレが世界を救う」、「ユニバーサルデザイン」のオリジナル授業を従業員が地域の小学校で実施しています。

[more >](#)



日本での評価、約束

環境面では、「エコ・ファースト企業」として環境省に認定され、また女性活躍推進などにおいても、社外から高い評価を獲得しています。

[more >](#)

関連リンク

[サステナビリティ \(Global サイト\) >](#)

グループ全体でのサステナビリティへの取り組みについて報告しています。

[国際連合広報センター 2030 アジェンダ >](#)

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) を説明、紹介しています。

[United Nations Sustainable Development Goals website >](#)

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) の原文が参照できます。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | **伝え、ともに学ぶ**
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



未来世代のために

▶ 伝え、ともに学ぶ

世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といったさまざまな課題が複雑に絡み合って存在しており、持続可能な社会を構築していくには、その担い手を育む「持続可能な開発のための教育＝ESD：Education for Sustainable Development」が必要といわれています。

ESDとは、地球規模の課題を、自らの問題として捉え、一人ひとりが身近なところから実践していくこと（think globally, act locally）により、課題解決につながる価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動です。

LIXILでは、未来を担う子どもたちが、自ら考え、行動を起こすことを目的に、教育活動を行っています。子どもたちに教えることで従業員自身も学び、触発されています。

出前授業

LIXILは、各事業所の従業員がCR戦略の3つの優先取り組み分野である「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」に対応するオリジナル出前授業を近隣の小学校で実施しています。LIXILの専門知識を活かし、未来世代のために取り組んでいます。

『水から学ぶ』

オリジナルのすごろくやワークシートを使って楽しみながら、「水は限られる資源」であること、水の大切さについて学習します。

子どもたちは授業を通して普段の生活を振り返り、水を大量に使っていること、節水の重要性に気づき、毎日の暮らしの中でできる工夫について、真剣に受け止め、考えてもらいます。

2010～2016年度の7年間で、延べ111回の授業を実施、約5,400名の生徒が参加しました。

[授業内容の詳細はこちら >](#)



『トイレが世界を救う!』

日本や世界のトイレ史、貧困地域の衛生課題、日本が貢献している事例などを紹介し、トイレの本来の役割について考えてもらいます。

トイレがなかった時代の生活や、排せつ物を循環利用する江戸時代の優れたシステム

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

ム、世界で起きている深刻な衛生問題など、子どもたちが普段あまり触れることのない世界を紹介することで、あらためて今の日本の恵まれた状況を知る機会となっています。

2015~2016年度の2年間で、延べ22回の授業を実施、約1,300名の生徒が参加しました。

[授業内容の詳細はこちら >](#)



『ユニバーサルデザイン～ひとりにいい、みんなにいい～』



街や家の中の身近なユニバーサルデザインを「わかりやすい」「使いやすい」「安全・安心」の3つのポイントで学びます。さまざまな人たちに対して、それぞれどのような工夫がされているか考え、知ることを通して、年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、ひとりひとりが快適に暮らしていくける社会に

していくため、自分たちができる学んでいく授業です。

2017年4月より、東京2020公認教育プログラムの1つとして、全国展開していきます。

[授業内容の詳細はこちら >](#)

<子どもたちからの感想>

「ほかの国ではきれいな水が飲めない国があるので、大切にしようと思いました。これからは雨水をお花にあげたいです。」(小5)

「アフリカなどの貧しい人たちの生活について考えました。将来は海外に行って貧しい人たちの支援ができるようになりたいです。」(小6)

講師を務めた従業員のほとんどが、子どもたちの熱心な反応や真面目に授業を聞く姿勢に触発され、やりがいを感じた。といった感想を抱き、従業員自身の成長にもつながっています。

ベトナム環境教育

LIXILでは2007~2015年度にわたって、ベトナムで環境教育を実施してきました。ベトナム環境教育の成果について、報告します。



実施の背景、目的

ベトナムには、衛生設備の整っていない地域も残っており、環境保全の知識も十分ではありません。ベトナムの発展とともに成長し、衛生陶器のトップシェア企業として、少しでもベトナム社会の役に立とうと、2007年、将来を担う子どもたちにとって本当に必要とされる教育への支援を開始しました。LIXILの持つ知見や知恵を活かしながら、「川が汚れるからゴミを流さないようにしよう」ではなく、「何が原因で川が汚れるのかを理解し、どうしたらよいかを子どもたち自身が考える」"教育"です。

実績の概要



LIXILは、現地の実情を踏まえたオリジナルの教材を作成し、国際NPO「Bridge Asia Japan(BAJ)」、「Seed to Table(STT)」と現地従業員とともに、実践的な環境教育に取り組みました。

9年間で延べ70人の講師を派遣し、延べ約8,000人の子どもたちが、水の大切さ、公衆衛生について学びました。工場見学も5回開催し、日頃モノづくりに触れることのないベトナムの子どもたちにその面白さや日本企業の技術やこだわりを伝えました。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

教育の成果

この教育を通して、学校の質が高まったことが評価され「国家基準をみたす学校」として認定されたり、地域で資源ごみの分別がはじまり、その売却金で街灯が設置されるなど、その成果は着実に現れています。

また、野外排泄していた世帯に対し、建設費を半額負担する方法をとったことで、新たに公民館 7か所と 285 世帯にトイレが設置されました。きれいに使用されることでトイレの快適さや重要性に気づいた村民らが、自主的にトイレ設置を開始するなど、その効果は拡大しています。子どもたちへの教育は、家族の行動や環境までも変化させてきました。開始当時の子どもたちは、すでに成人し教える側に立っています。9年間の活動は、従業員にとっても成長や気づきの場となりました。



野外排泄が大半で、トイレがあってもビニールシートで囲っただけのものが大半。トイレ設置により、衛生環境が改善され、村民の意識や行動も変化します。

2015 年度をもって休止しますが、LIXIL は CR 戦略の優先分野に「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」を掲げています。これからも水と衛生問題の解決に向け活動を行っていきます。

[2015年12月、2016年3月の活動はこちら >](#)

関連リンク

[文部科学省 ESD \(Education for Sustainable Development\) >](#)

持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラムについて、日本ユネスコ国内委員会が紹介しています。

[認定 NPO 法人 ブリッジ エーサイア ジャパン >](#)

1993 年設立。アジアと日本の架け橋となって国際協力をしています。LIXIL は、2007 年からホーチミンやフエで環境教育活動を協働で実施。



[特定非営利活動法人 Seed to Table? ひと・しぜん・くらしつながる? >](#)

2009 年 7 月設立。次世代を担うリーダーを育てながら、食と農と地域づくりを行っています。LIXIL は、2010 年からホアビン省ナムソン村、フーヴィン村、ディックザオ村で環境教育活動を協働で実施。

Seed to Table
～ひと・しぜん・くらしつながる～

[Seed to Table 公式 facebook >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

これまでの歩み

活動の詳細は、リンクをご覧ください

活動期間		活動内容
2007年	-	BAJ、セーブ・ザ・チルドレンと活動を開始（3ヵ年契約）
	4月	オリジナル教育テキストの作成
	6～8月	ハノイ北部イエンバイ、フエで環境教育実施
2008年	3月	エコプロダクツ展（ハノイ）にイエンバイやフエの子どもを招待、INAX VIETNAM Co., Ltd. ※1 見学
	6月	イエンバイ、フエで環境教育実施
	12月	イエンバイ、フエ、クイニョンで環境教育実施
	2009年 6月	イエンバイ、フエ、ホーチミン で環境教育実施
2010年	-	BAJ、STTと活動を開始
	1月	フエ、クイニョンで環境教育実施。INAX VIETNAM TILE Co., Ltd ※2 の工場見学
	7月	ホアビン省ナムソン村、フエ、ホーチミンで環境教育実施
2011年	1月	ホアビン省ナムソン村、フエ、ホーチミンで環境教育実施
	7～8月	ホアビン省フーヴィン村、フエ、ホーチミンで環境教育実施 INAX VIETNAM Co., Ltd. ※1 でホアビン省ナムソン村住民による活動報告と工場見学
2012年	2月	ホアビン省フーヴィン村、フエで環境教育実施
	7月	ホアビン省ディックザオ村、フエで環境教育実施 LIXIL INAX VIETNAM Corporation ※1 でホアビン省フーヴィン村住民による活動報告と工場見学

2013年	3月	ホアビン省ディックザオ村、フエで環境教育実施 LIXIL INAX Saigon Manufacturing Co., Ltd. ※2 におけるゴイサオ学校生徒による活動報告と工場見学
	8月	ホアビン省ディックザオ村、フエで環境教育実施 LIXIL INAX VIETNAM Corporation ※1 におけるディックザオ村住民による活動報告と工場見学
2014年	2月	ホアビン省ディックザオ村、フエで環境教育実施
	7月	ホアビン省ナムソン村、フエで環境教育実施 LIXIL INAX DANANG Manufacturing Co., Ltd. ※3 におけるフエ近郊の子どもによる活動報告と工場見学
2015年	3月	ホアビン省ナムソン村、フエで環境教育実施
	7月	ホアビン省フーヴィン村、フエで環境教育実施
	12月	ホアビン省フーヴィン村で環境教育実施
2016年	3月	フエで環境教育実施 ※上記 2015年12月活動 (PDF) に合わせて報告

※1 現 LIXIL VIETNAM CORPORATION ハノイ本社

※2 現 LIXIL VIETNAM CORPORATION サイゴン工場

※3 現 LIXIL VIETNAM CORPORATION ダナン工場

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

› 水から学ぶ

「21世紀は水の世紀」と言われ、水問題は世界の重要課題の一つです。水の惑星と呼ばれる地球。しかしながら、私たちが使える水は全体の0.007%に過ぎず、何気なく食べている野菜や肉を収穫し育てるためには膨大な水が使われています。トイレやお風呂等、水まわりの設備機器を取り扱うLIXILとして、水は限られる資源であることや、毎日の生活を通して水の大切さを子どもたちに伝える活動を行っています。

日本に暮らしながら、地球の水問題を自分たちの課題としてとらえることは簡単なことではありません。子どもたちが、「地球の一員として水を大切にしたい」と思う心を育てるため、この活動に取り組んでいます。

また、各事業所の従業員が授業の講師を務めることで、地域社会との関わりを深め、未来世代への責任について学び、貢献していくことを目指しています。



授業の概要

対象	小学校高学年（5～6年生）
関連教科	理科・社会・総合的な学習の時間
授業時間	全2時限（45分×2コマ）
教材	オリジナルツールを用意。すぞろく「しづくの大冒険」、ワークシート
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水の特徴と地球規模での循環 ・世界で起きている水の問題 ・バーチャルウォーター～食物に隠れている水～ ・暮らしに使われる水

スライド教材 例

	水の惑星と言われる地球のどこに水があるのかを考え、実際に直接使える水が非常に少ないことを知ってもらう。
	固体から液体、気体へと変化する水の特徴を確認しながら、水が循環していることを伝える。
	すぞろくで一人ひとりが水の「しづく」となって、形を変えながら世界中を旅する。ゲームを通して、それぞれの場所で水がどのように使われている、どんな状態なのかを学ぶ。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

	<p>日常生活で使う水の量について、ワークシートを使って考えてみる。たとえば、歯を磨くときに、コップを使うと、どれくらい節水できるのかを推測する。</p>
	<p>世界には、水を遠くまで汲みに行くために、学校に通えない子どもたちがいること知り、水が不自由なく使えることが、当たり前ではないことを学ぶ。</p>
	<p>カレーライスを例に、食物を作るために使われる水、バーチャルウォーターについて学び、海外でおこっている水不足も自分たちの生活につながっていることを知る。</p>
	<p>一人一日 300L 使っている水を、どうすれば減らすことができるか、身近な節水方法について、グループでアイデアを出しあう。</p>

活動の実績

2010～2015 年度の 6 年間で、延べ 94 回の授業を実施、約 4,900 名の生徒が参加しました。

活動の成果

子どもたちの授業後のアンケートから、私たちが使える水が実は少ないということや、きれいな水が使える環境が当たり前でないということを知り、水の大切さについて考えるきっかけになったことが伺えます。

また、先生への後日アンケートからは、授業を受けた日から、手洗い時や掃除の時に水を無駄にしない姿が見られたとの声もあり、身近な「水」について学ぶことが、行動の変化にすぐ結びつくようです。

従業員にとっても改めて自社製品と水問題を考えるきっかけになりました、自身の成長や気づきの場となっています。

子どもたちの感想

- ・ 私は飲み水というと、透明のものしか思い浮かばずそれが常識だと思っていた。だけど、そのようなことを思えるのはわずかな国であること、茶色い水をくむために 8km も歩き、そのために学校にいけないということに驚きました。(小 6)
- ・ 初めて知ったことがたくさんありました！一番おどろいたことは、一人一日 300L もの水を使っていることです。手を洗う時にこまめに水を止めるだけでも使う量が違ってくると知って少し気をつけるようになりました。(小 6)
- ・ 食べ物を輸入することで、きれいな水を使うことができずに、こまっている国の人たちの貴重な水を使っているということを知りました。これからはごはんも大切に残さずに食べたいです。(小 6)
- ・ きれいな水がなくて死んでしまう人々がいる。わたしたちは自由にいっぱい使

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

えるから、すこしでも使う量を少なくして、きれいな水がないところに分けてあげたいと思いました。(小5)

先生の感想

- 環境というとなかなか水のことと思い浮かばず、ゴミ、リサイクルなどに目が向きます。しかし、水の汚れに着目し、子どもから率先して家庭で実践すると、少しずつ家庭排水も美しくなっていくと思われます。遠回りですが、子どもの意識が変わることで、大人へも伝わると考えています。
- 水について子どもたちが知らない内容がたくさんあり勉強になったと思います。これから意識して水を大切に使う場面が多くなると思います。
- 普段なかなか自分の知識を友達に伝えられない児童が発言することができ、それ以外の児童も新たな知識を得ることができました。

今後の活動

従業員自身が社会貢献活動として取り組むことはもちろん、世界の課題と自分の生活の繋がりを伝え、子どもたちが自ら考え方行動できるように活動を続けていきます。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

› トイレが世界を救う

世界では、現在3人に1人が安全で衛生的なトイレを日常的に使用できない環境で生活しています。そのうち約9.5億人が屋外で排泄を行っています。安全ではない水や不衛生な環境が原因で発症する下痢性疾患により、毎日800人以上もの5歳未満の子どもたちが命を落としています。

LIXILは「優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献」する企業として、この世界的な問題に取り組んでいます。

[グローバルな衛生課題の解決 \(Global サイト\) >](#)

国内では2015年度よりオリジナル出前授業「トイレが世界を救う！」を地域の小学校で実施していますが、未来を担う子どもたちに、世界のトイレ事情やトイレの歴史、衛生課題の解決に企業が取り組んでいることを知ってもらうことで、清潔なトイレ環境の大切さを深く理解し、自分たちの暮らしを振り返り、考え、行動する機会を創出することを目的としています。

また、各事業所の従業員が授業の講師を務めることで、地域社会との関わりを深め、未来世代への責任について学び、貢献していくことを目指しています。



授業の概要

対象	小学校高学年 (5~6年生)
関連教科	総合的な学習の時間、道徳、社会
授業時間	全1時限
教材	オリジナルツールを用意。※教材は NPO法人企業教育研究会 (ACE) と共同で開発
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの歴史 ・世界が抱えるトイレの問題 ・衛生課題解決の事例紹介

スライド教材 例

<p>トイレの歴史では、排泄物を堆肥として再生し、資源循環させていた江戸時代の優れたシステムを紹介する。</p>
<p>中世ヨーロッパでは、排泄物の不衛生な処理により、伝染病が流行し「トイレの暗黒時代」があったことを学ぶ。</p>

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

	<p>世界の不衛生なトイレの状況について深く考えてもらえるよう、写真を提示して子どもたちに問いかける。</p>
<p>Q 清潔なトイレを日常的に使用「できない」人はどれくらいいるのでしょうか? <small>世界の人口は約70億人</small></p> <p>①4億人 ②14億人 ③24億人</p>	<p>世界では、3人に1人が安全で清潔なトイレを使用できていないという深刻な問題について、クイズ形式で質問し、考えてもらう。</p>
	<p>貧困地域では学校に安全なトイレがないことによって、通学を断念する生徒が大勢いる状況を伝え、その地域での改善事例を紹介する。</p>
	<p>トイレを清潔に保つことの重要性を理解し、普段の学校の生活では誰がその役割を担っているのか確認しながら、自分たちの普段の生活についても考えてもらう。</p>

活動の実績

2015年度は、延べ16回の授業を実施、約1,000名の生徒が参加しました。

活動の成果

子どもたちの授業後のアンケートや先生の感想から、普段はきれいなトイレが使えることを当たり前のことと感じており、学校の授業だけでは知り得なかったトイレに関する歴史や世界の衛生問題の現状を知ることで、各自の気づきにつながっていることが伺えます。

また、授業の中での子どもたち同士の意見交換では、学んだ内容について、自分の言葉で意見や感想を述べ合う姿が見受けられます。

そして、従業員自身の知識も深まることはもちろん、普段接しない子どもたちとの交流はとても良い経験となり、従業員の人間的な成長にも寄与しています。

子どもたちの感想

- ・日本や外国の昔のトイレの歴史はとてもびっくりするところがたくさんあっておもしろかったです。今までトイレに興味はなかったけど、よく考えてみると日本の技術でつくられたトイレにはいろいろな機能があって、興味を持ちました。(小6)
- ・普段、当たり前のように使っているトイレだけど、世界の3人に1人が衛生的なトイレを使えていないことに驚きました。当たり前だと思うのではなく、感謝をもって過ごしていきたいです。(小6)
- ・自分たちの暮らしはすごく良い環境でありがたいと思った。苦しんでいる同じ年の子どもたちがいることを心にいれていきたいです。(小6)
- ・自分たちも社会に貢献できることをせいいっぱいやっていきたいと思いました。(小6)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

先生の感想

- ・日本のトイレの機能が世界的にトップクラスであることを興味深く感じている様子が伺えたとともに、子どもたちが世界の問題に関心を持つきっかけになりました。
- ・日本は恵まれているということを生徒も理解できるような内容で良かった。

従業員の感想

- ・子ども達の積極的な姿勢と、先生方が熱心に聞いて下さったことが印象的でした。今まで知らなかった世界に興味を持っていただけたようでも良かった。
- ・普段の業務とは異なる子どもたちへの授業ということで、素直な疑問や意見をもらい、新鮮な感覚を覚えました。非常に楽しかったです。
- ・今後も継続して活動し、多くの人に考えることの大切さ、トイレの重要性などを伝えていきたい。

今後の活動

従業員自身が社会貢献活動として取り組むことはもちろん、子どもたちに、技術力だけでなく、おもてなしの心やトイレを清潔に気持ちよく使う日本人のマナーについても周知していきます。

› ユニバーサルデザイン ~ひとりにいい、みんなにいい~

高齢化が進む日本、2035年には人口の5人に1人が75歳以上の高齢者になると予測されています。また、現在、世界の約15%の人が何らかの障がいを持っている、その比率は年々増加しています。

「衣食住」の「住」にかかわるLIXILとして、子どもからお年寄りまで世界中のひとりひとりが豊かで快適な住生活を送ることをめざす「ユニバーサルデザイン」を子どもたちに伝えます。

子どもたちにとって、高齢者や障がい者は遠く自分と違う人たちとらえがちです。街や家に施されている身近な「ユニバーサルデザイン」を知ることで、性別、年齢、国籍、障がいの有無などの多様性に関する理解を深め、自分たちができるることを考え、行動する力を身に着けるきっかけを提示していきます。子どもたちとともにユニバーサル社会の実現に向けて、私たちは活動に取り組んでいます。

また、各事業所の従業員が授業の講師を務めることで、地域社会との関わりを深め、未来世代への責任について学び、貢献していくことを目指しています。

*このプログラムは、東京2020公認教育プログラム（よい、ドン！）の一つです。



[東京2020参画プログラム公式サイト](#)



ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

授業の概要

対象	小学校4~6年生
関連教科	総合的な学習の時間、道徳、国語、社会
授業時間	全2時間(45分×2コマ)
教材	オリジナルツールを用意
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性のある社会と自分 ・街や住まいのユニバーサルデザイン ・耳の不自由な方への伝え方体験 ・多機能トイレのユニバーサルデザイン探し

スライド教材 例

	<p>日本の人口を100人に換算して、性別や年齢、国籍など、多様な人が暮らす社会であることを学びます。</p>
	<p>外国に行った際、何が書いてあれば迷わないか考えることで、自分自身も多様な個性を持つひとりであることを確認します。</p>

<div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 5px 10px; text-align: center;"> 第2問 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆グループで一人答える人を決めましょう</p> <p>◆伝える人は、今から示す言葉を声を出さず、道具も使わずに伝えてください</p> <p>◆答える人は後で番号札をあげてください</p>  </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>使いやすく進化した水栓</p>  </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>ユニバーサルデザインとは</p> <p>ひとりにいい みんなにいい</p>  </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>探しでみよう！多機能トイレの秘密</p>  </div>	<p>耳の不自由な方への伝え方をゲーム形式で楽しく学びながら、伝えることの難しさや相手の立場に立って考える事が大切を体験します。</p>	<p>身近な家の中の製品が、さまざまな立場の人にとって使いやすいように進化していることを伝えます。</p>
		<p>ユニバーサルデザインの工夫を「わかりやすい」「使いやすい」「安全・安心」の3つのポイントで確認し、学びます。</p>

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

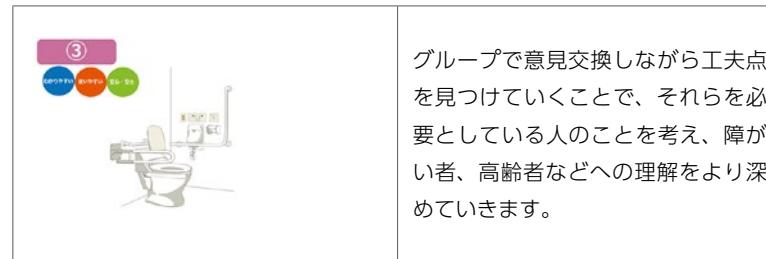
- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



グループで意見交換しながら工夫点を見つけていくことで、それらを必要としている人のことを考え、障がい者、高齢者などへの理解をより深めていきます。

活動の実績

2017年4月から本格的に実施します。

子どもたちの感想

- ・ユニバーサルデザインがどんな物なのかと、どのようなものがあるかがよく分かって楽しかった。ユニバーサルデザインは、「だれもが暮らしやすい街づくりに大切な物」だという事がよく分かった。(小5)
- ・この授業を通して、ぼくたちにも出来る事があるんだなと思って、普段身近にある物にもよくみてみると、いろんな工夫がしているという事が分かり、とても楽しく勉強できました。なので、これからもこのことをいかして、積極的にこまっている人を助けたりしていきたいです。(小5)
- ・さまざまな人がいることと、私たちが生活していく中のうらで一生けんめいに、「どうしたらみんながくらしやすくなるのだろうか」を考えている人が自分の身の周りにいる、ということがすごいと思いました。(小5)

先生の感想

- ・映像、クイズ、グループでの話し合いなど、いろいろな活動があり、児童が大変興味をもって取り組んでいました。内容も難しそうで、とてもわかりやすかったです。取り上げた事例が児童に身近にあるものでよかったです。

今後の活動

従業員自身が地域貢献活動として取り組むことはもちろん、世界の課題と自分の生活の繋がりを伝え、子どもたちが自ら考え行動できるように活動を続けていきます。

ユニバーサルデザイン出前授業お申込み・お問合せ先

本出前授業に関するお申込み・お問合せは、必要事項をご記入の上、下記の宛先までメールでお送りください。

【お申込み時の必要事項】

- [1] 学校名、[2] 住所、[3] 希望日時、[4] 受講学年、[5] 人数、[6] ご担当者のお名前、[7] その他確認したい事項
- ・受付後、個別にご相談させていただきます。
- ・日程、講師、教材などの調整のため、1か月以上前までにお申込みください。
- ・状況によってご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

株式会社 LIXIL ユニバーサルデザイン出前授業担当

E-Mail : educationjp@lixil.com

※個人情報の取り扱いに関しては、[LIXIL プライバシーポリシー](#)をご参照ください。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | **日本での評価、約束**

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

未来世代のために › 日本での評価、約束

LIXILは、CR戦略のなかで、マテリアルイシューを定め、目標を設定しています。グローバル企業として、社会への約束として取り組み、成果を報告していきます。日本でも、国内最大級の住まいと暮らしの総合住生活企業として、リーダーシップを発揮していく所存です。省庁などが進めるさまざまな活動に参画し、評価や認定を受けています。

エコ・ファーストの約束

「エコ・ファースト」とは、企業の環境保全に関する業界のトップランナーとしての取り組みを促進していくため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。

[環境省「エコ・ファーストの制度について」>](#)



LIXILは2012年、「LIXIL環境ビジョン」の環境戦略重点テーマに基づいた具体的な取り組み内容と目標を明確にした活動を積極的に推進することを約束し、環境省から「エコ・ファースト企業」として認定を受け、活動報告を行ってきました。国内の統合と海外への事業拡張を進めてきたLIXILは、2015年、CSRの推進体制を刷新し、2016年3月、新しい「環境ビジョン」を制定、発表しました。新しい約束の認定取得に向けて、環境省への説明を行う計画です。

「女性活躍推進法」に基づく 「一般事業主行動計画」の公開

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が制定され、2016年4月1日から、国・地方公共団体、労働者301人以上の大企業は、女性の活躍推進に向けた数値目標と取り組みを盛り込んだ行動計画の策定などが義務付けられています。

女性がより活躍するためには働き方を含む環境の整備を更に進める必要があることから、以下の通り、行動計画を策定しました。

「女性活躍推進法」に基づく「一般事業主行動計画」

LIXILでは女性の活躍を積極的に進めるために2014年8月に『We Do アクション』を策定し、数値目標を掲げ取り組んでいます。今般の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」成立を受けて分析を行った結果、女性がより活躍するためには働き方を含む環境の整備を更に進める必要があることから、次のように行動計画を策定します。

1. 計画期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

2. 当社の課題

1. 男性の育児休業の取得率が低い
2. 有給休暇の取得率が低い

3. 目標と取組内容・実施時期

目標1：

男性の育児参画を促すため育児休暇制度（仮称）を整え、平成30年度には取得率を50%以上とする。

〈取組内容・実施時期〉

- ・平成28年4月～ 育児休暇制度（仮称）の導入を検討
- ※同年6月、上記制度として「配偶者出産・育児休暇（ぱぱの子育て休暇）」制定、導入
- ・平成29年4月～ 上記制度の導入、及び取得促進活動を展開
- ・平成30年4月～ 平成29年度の実績を把握し、必要に応じて目標達成のための促進活動を実施

目標2：

長時間労働の是正を目的として、平成30年度の正社員の有給休暇取得率を平成26年度実績から10ポイント以上アップする。（取得率55%以上）

〈取組内容・実施時期〉

- ・平成28年4月～ 平成27年度の実績を分析し、対応策を検討
- ・平成29年4月～ 取得促進のための対応策を展開
- ・平成30年4月～ 平成29年度の実績を把握し、必要に応じて目標達成のための促進活動を強化

以上

[ニュースリリースはこちら>](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

関連リンク

[多様性の尊重はこれら>](#)

そのほかの取り組み

このほかにも、ダイバーシティの推進や製品安全への取り組みなどへ、高い評価を獲得しています。

タイトル	概要	取得年
認定マーク「えるぼし」 (3段階目) 	<p>厚生労働省東京労働局より「女性活躍推進法第9条」に基づく基準適合一般事業主として最高位の認定を取得</p> <p>厚生労働省女性活躍推進企業データベース 内閣府男女共同参画局女性活躍推進法「見える化サイト」</p>	2017年1月
精神障害者等雇用優良企業認証 	<p>精神障がい者等を中心とした障がい者の雇用促進に積極的に取り組む企業として、厚生労働省委託事業「精神障害者等雇用優良企業認証」を取得。事務局：一般社団法人障害者雇用企業支援協会</p>	2016年5月

女性活躍パワーアップ大賞	<p>女性の活躍推進・生産性向上を目指し、独自性のある創意工夫された取り組みを行っている組織として、「大賞」受賞。</p> <p>主催：公益財団法人日本生産性本部、ワーキングウーマン・パワーアップ會議</p>	2016年2月
次世代認定マーク「くるみん」 	<p>厚生労働省東京労働局より「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業」に認定</p>	2015年10月
消費者教育教材資料表彰 優秀賞 	<p>公益財団法人消費者教育支援センター主催「平成26年度消費者教育教材資料表彰」において、「安全教育授業プログラム～家の中の安全を考えよう～」が優秀賞受賞</p> <p>安全教育授業プログラム></p>	2015年10月

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合



➤ 従業員とともに

現在、LIXIL グループ全体では、8万人以上の従業員が世界中で働いています。うち、日本国内に約3万6千人、株式会社 LIXIL 単体の従業員は18,952人(男性13,269人、女性5,683人)となります。LIXILは、「2020年までに世界で最も企業価値が高く、革新的で、信頼されるリビングテクノロジー企業となる」というビジョンを掲げています。ビジョンを達成し、グローバル競争に勝ち続けていくためには、従業員の活力を増大させる人事基盤が必要と考えます。ビジョンの共有と達成に向け、「実力主義の徹底」、「多様性の尊重」、「公平な機会の提供」を尊重し実現する企業文化づくりを進めています。



多様性の尊重

誰もが実力を十分に発揮できる会社となるよう、経営戦略として、女性活躍を強力に推進しています。障がい者雇用にも注力しています。

[more >](#)



働きがいのある職場環境づくり

従業員の声を拾い上げるグローバルサーベイや、キャリア開発支援の仕組みや制度について紹介しています。

[more >](#)



ヘルスケア

健康保持増進のための活動や、メンタルヘルスケア、職場復帰支援に取り組むほか、他企業と連携し「KENKO企業会」にも参画しています。

[more >](#)



労働組合

LIXIL労働組合が掲げるビジョンやミッション、組合員意識調査や、福利厚生への取り組みについて紹介しています。

[more >](#)

関連リンク [サステナビリティ 従業員 \(Global サイト\) >](#)

ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する
- | 情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

従業員とともに
➤ 多様性の尊重

LIXILは、多様性の尊重を、CR戦略の柱の一つに掲げ取り組んでいます。社内外の人びとの多様性を尊重し、特に、製品やサービスなどを通じて、高齢者や障がい者の生活の質の向上に貢献します。

そして、社内では、多様な従業員の英知や視点を活かし、成長とイノベーションの原動力としていきます。LIXILは従業員の誰もが相互に尊重しあい、それぞれの実力を發揮し、誇りをもって働く企業風土づくりを目指しています。

女性の活躍推進

従業員の約23%を占める女性の活躍が不可欠であると考え、2013年1月、LIXILは、ダイバーシティ宣言を掲げました。

[more >](#)

障がい者の雇用促進

ダイバーシティ推進部の中に「障がい者雇用促進室」を設置し、誰もがいきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組み込んでいます。

[more >](#)

関連リンク

[多様性の尊重 \(Globalサイト\) >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

女性活躍推進

これまでの成果 女性管理職比率 4年で 7.8 倍

LIXIL 統合後 1 年に満たない 2012 年 3 月、LIXIL の女性管理職は 22 名で、管理職の女性比率は、わずか 0.9% でした。多様性により創出されるエネルギーと創造性を経営に活かすためには、まずは従業員の約 23% を占める女性の活躍が不可欠であると考え、2013 年 1 月、LIXIL は、ダイバーシティ宣言を掲げました。[多様性の尊重 \(Global サイト\) >](#)

➤ ダイバーシティ宣言

LIXIL の企業文化は、多様性が生み出すエネルギー、創造性を経営に活かし、公正で公平は環境の中で、誰もが現状に満足せず、自らが課す高いハードルを次々に越えきちんと結果を出し、それが正当に評価される社会を目指すことです。



1. 多様性の尊重 (Respect Diversity)

性別、年齢、人種、国籍、価値観、バックグラウンドの違いを歓迎し、自由闊達な議論から生み出されるエネルギー、創造性を強さの源泉とします。

2. 公平な機会の提供 (Equal Opportunity)

属性の違いにかかわらず自発的・積極的に取り組もうとする人に活躍の機会・場を公平に提供します。

3. 実力主義の徹底 (Meritocracy)

LIXIL VALUE の実践とパフォーマンスの発揮を正当に評価します。

そして、「人事施策」、「人材育成」、「環境整備」、「風土醸成」の 4 つを柱に総合

的に施策を展開、女性の積極的な管理職登用、定期採用、ワーク・ライフ・フレキシビリティの推進、LIXIL Women's Network の立ち上げなど、風土改革や環境整備に取り組みました。

2014 年 8 月には、内閣府がサポートする「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」が発表した「行動宣言」に沿った「WeDo アクション : Women Empowerment in the Diversified Organization」を制定し、活動を加速させました。

2016 年 3 月末、女性管理職（課長職相当以上）は 167 名と 2012 年に比べ 145 名増加し、女性管理職比率は 7.8 倍に大きく上昇しました。また、2016 年 4 月入社の定期採用者における女性比率は 37.4% と、2012 年に比べ約 3 倍になりました。

女性リーダーが率いるプロジェクトも増え、ビジネス上の成果も現れています。



LIXIL Women's Network 東北支社で
COMPASS ミーティング開催

これからの活動

平成 28 年 (2016 年) 4 月「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」の施行に伴い LIXIL では、引き続き女性活躍を加速し定着させるため、さまざまな分析を行い、働き方を含む環境の整備を促進する「一般事業主行動計画」を新たに策定しました。

具体的には、男性の育児休業の取得率が低いこと、有給休暇の取得率が低いことを課題と捉え、その対策を実行し改善を図ります。平成 28 年 4 月 1 日から、平成 31 年 3 月 31 日までを計画期間とし、以下の目標を表明しています。

ステークホルダー
エンゲージメント

お客様のために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

目標と取組内容・実施時期

目標 1：男性の育児参画を促すため育児休暇制度（仮称）を整え、平成 30 年度には取得率を 50%以上とする。

〈取組内容・実施時期〉

- 平成 28 年 4 月～ 育児休暇制度（仮称）の導入を検討
 - ※同年 6 月、上記制度として「配偶者出産・育児休暇（パパの子育て休暇）」制定、導入
- 平成 29 年 4 月～ 上記制度の導入、及び取得促進活動を展開
- 平成 30 年 4 月～ 平成 29 年度の実績を把握し、必要に応じて目標達成のための促進活動を実施

目標 2：長時間労働の是正を目的として、平成 30 年度の正社員の有給休暇取得率を平成 26 年度実績から 10 ポイント以上アップする。（取得率 55%以上）

〈取組内容・実施時期〉

- 平成 28 年 4 月～ 平成 27 年度の実績を分析し、対応策を検討
- 平成 29 年 4 月～ 取得促進のための対応策を展開
- 平成 30 年 4 月～ 平成 29 年度の実績を把握し、必要に応じて目標達成のための促進活動を強化

[ニュースリリースはこちら >](#)

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

障がい者の雇用促進

LIXILは、障がい者雇用にも注力しています。

ダイバーシティ推進部の中に「障がい者雇用促進室」を設置し、雇用機会の創出だけではなく、誰もがいきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組み、研究開発や生産、各種事務業務など、幅広い職場で障がいの特性に合わせた働き方を提供、サポートしています。



現在 LIXIL では、282 名の障がい者（2016 年 3 月末現在の実人数。身体障がい者：189 名、知的障がい者 65 名、精神障がい者 28 名）が在籍し、障がい者雇用率は 2.22%（法定雇用率 2%）となっています。

障がいとは、日常生活に制約のある状態をいい「身体障がい」「知的障がい」「精神障がい」の 3 種類があります。身体障がいとは、聴覚や視覚、肢体不自由など、身体機能の一部に不自由があり、日常生活に制約がある状態。知的障がいは、発達期に起きる障がいで、知的機能や適応行動に制約がみられます。

精神障がいは、脳および心の機能や器質の障がいに起因するもので、統合失調症や躁うつ病、うつ病などの気分障がい、パニック障がいなどが該当します。LIXIL ではそれぞれの障がいや、一人ひとりの能力や特性に応じた、働き方のサポートを行っています。

障がい者就労センター「WING NIJI」

障がい者就労センター「WING NIJI」（2014 年 7 月開所：東京都江東区）では、細やかな配慮に基づいた障がい者の雇用拡大に取り組んでいます。

日々の仕事を通したやり取りはもとより、面談や支援機関との連携を通して一人ひとりの違いを深く理解し、業務の質や量、仕事の進め方、環境などを考慮して業務内容を決定しています。

また、意欲的に取り組みたい業務へのチャレンジを応援し、ストレスコーピング（ストレスの軽減や対処）と能力拡大との両立を図っています。

具体的には、現場のリーダーである身体障がい者と精神障がい者、室長、室長補佐で「リーダー会」を組織し、それぞれのチームで起こった問題を共有し討議することで、迅速な問題の解決と環境の改善を行っています。



さらに「ピアサポート（同じような課題に直面する人同士が互いに支え合うこと）」を通じた支援にも力を入れています。例えば知的障がい者の日々の作業について、聴覚障がい者と精神障がい者が自主的にミーティングを開いて業務遂行上の工夫や問題解決に当たるなど、障がい者自身の手による運営を推進し、実現しています。

精神障がいでは、職場での人間関係や業務上のストレスに敏感なケースも多く、障がい者職業生活相談員の資格を持つ精神障がい者をリーダーに登用することで、当事者の視点でメンバーの負荷や困りごとに注意を払えるようにしています。同時に、「リーダー会」を活用し、異変の兆候をいち早くキャッチし、チームを越えた横断的なサポートを行っています。



厚生労働省委託事業

LIXIL は、2016 年 5 月、精神障がい者等を中心とした障がい者の雇用促進に積極的に取り組む企業の社会貢献を評価する、厚生労働省委託事業「精神障害者等雇用優良企業認証」（事務局：一般社団法人障害者雇用企業支援協会）を取得しました。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

施設概要

【所在地】	〒136-0072 東京都江東区大島 2-14-7
【建物面積】	388m ² (約 117 坪)
【収容人数】	50 名
【竣工】	2014 年 7 月 2 日



LIXIL WING
NIJI

ユニバーサルデザインとパッシブファーストの技術を取り入れ、社員の健康や快適性、環境負荷低減を追求しています。木造平屋の良さをいかし、温かみのある家庭のような雰囲気を創出することで、誰もが働きやすいオフィス環境を整えています。



ステークホルダー
エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

従業員とともに
› 働きがいのある職場環境づくり

LIXILは、従業員が問題意識を持つて意見をオープンに発言できること、そして自らが常に変化し挑戦し続けることが重要であると考えています。

LIXILのビジョン、経営の方向性や戦略への理解のほか、社員が誇りを持っていきいきと働く職場になっているのか。

LIXILが強くて良い会社になるためにも、従業員の声を反映しながら、仕組みづくりや職場環境の改善を積極的に行ってています。



グローバルサーベイ LIXIL Heartbeat の実施

従業員の声を拾いあげるグローバルサーベイを実施



急速に変化を続けるLIXILにおいて、One LIXILとして成長を続けるために、各組織・各従業員の現状を把握する重要性が一層増しています。

そこで、2015年度から、LIXILグループ各社で実施していた従業員意識調査をグローバル全社で統一し、LIXIL

Heartbeat(ハートビート)として、LIXILのビジョンへの理解、日頃の職場に関

する問題意識、従業員の満足度やエンゲージメントについての共通調査を実施しています。第1回の2015年度は、全世界で6万6,000人以上が回答し、90%以上の従業員の声が集まりました。

サーベイ結果を受け、
全社員による率先した変化へのチャレンジ

各組織では、この調査結果を基にメンバーが集まり、フィードバックされたサーベイ結果から自部署の課題を特定し、改善のためのアクションプランを立て実行しています。

同時に、LIXILグループ全体の共通課題に対しては、部門横断プロジェクトを立ち上げ、改善を進めています。全社員による率先した変化へのチャレンジを通じ、更なる持続的な成長を目指します。

Job Posting 制度の運用開始

LIXILは、従業員一人ひとりが自発的にキャリアを切り拓き、個の力を磨くことで成長し、自分の価値を発揮していくために、キャリア開発支援の取り組みを始めています。その取り組みの一環として、2016年4月よりJob Posting制度の運用を開始しました。

Job Postingは、キャリアのオーナーは自分自身であるという考え方のもと、必要な人材を社内から見つけ出し、従業員にキャリア実現のためのチャレンジの機会を提供することを目的として、従来実施していた社内公募制度を発展させたものです。これは、必要な人材を社内から見つけ出したいという部門ニーズと、やりたい仕事につき、やりがいを持って働きたいという従業員のやる気をマッチさせることで、人材の最適配置の実現を目指す取組みでもあります。

(株)LIXILグループ、(株)LIXIL及び生産系子会社14社※ 原籍の正社員を対象としており、これまで以上に広範囲の職種・職務に関する公募を実施し、人と組織の活性化を促していきます。

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する
- | 情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

※ (株) LIXIL 物流・(株) 北海道 LIXIL 製作所・(株) 一関 LIXIL 製作所・(株) 福島 LIXIL 製作所・(株) 前橋 LIXIL 製作所
(株) 横浜 LIXIL 製作所・(株) 松戸 LIXIL 製作所・(株) 伊吹 LIXIL 製作所・(株) 久居 LIXIL 製作所・(株) 大和 LIXIL 製作所
(株) 福岡 LIXIL 製作所・(株) 熊山 LIXIL 製作所・(株) LIXIL サンウエーブ製作所・(株) 可児 LIXIL サンウエーブ製作所

関連リンク

- [従業員 働きやすい職場 \(Global サイト\) >](#)
[従業員 人材育成 \(Global サイト\) >](#)

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | **働きがいのある職場環境づくり**
- | ヘルスケア
- | 労働組合

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

従業員とともに → ヘルスケア

ワークライフバランスという言葉が少しずつ浸透し、個人の働き方や就労への意識も徐々に多様化してきていますが、日本国内では、まだまだ長時間労働などに起因する健康面の課題があります。

また、日本は世界1位の長寿国であり、総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は26.7%です。20年後には3人に1人が65歳以上となる予測^{*}もあり、「健康長寿社会」の実現に向けて、就労世代の従業員のヘルスケアに注力することが、各企業にも求められています。

LIXILでは、「グループ企業行動憲章」の中に「働くすべての人の安全を優先し、労働災害のない働きやすい職場を実現するとともに、心とからだの健康づくりを推進します。」と明記し、従業員の安全と健康を守る取り組みを実施しています。
*出典：平成28年版高齢社会白書

「LIXIL WELLNESS」

LIXILは、LIXIL健康保険組合と連携し、2015年から会社・健保の相互の資源や強みを生かした協働の活動「LIXIL WELLNESS」に取り組んでいます。

従業員の健康保持増進を支援するため、以下の活動を積極的に展開しています。

- ・一人ひとりの健康意識を高め、自己健康管理意識を向上させる
- ・多くの人に疾病予防及び健康増進の機会を提供する
- ・一人ひとりの健康に配慮した快適職場環境を整備する

心疾患・脳疾患など、生命に危険を及ぼすだけでなく医療費も高額となる疾病的予防のため、全従業員の健診結果のうち「糖尿病」や「高血圧症」など生活習慣病で重症度が高い従業員（2015年度301名）に対し、医療機関への受診を積極的に勧奨し、着実に医療機関受診へとつなげています。

また、長時間労働者に対して、産業医による面談を確実に行い、心身に不調を引き起こすことのないよう予防に努めています。このほか健康保険組合では、被保険者だけでなく被扶養者に対しても「人間ドック」、「子宮ガン・乳ガン検診」、「歯科検診」などを呼びかけ、健康保険組合で検診費用の補助を行っています。

また、40歳以上を対象とする特定保健指導も2015年度は439名に実施しました。また、LIXILでは従業員の健康維持のため、積極的に健康づくりに取り組めるよう、ウォーキングやダイエット、禁煙などにチャレンジする「健康づくりキャンペーン」も展開しており、2015年度は5,118名の従業員及び家族が参加し、健康増進に努めました。

LIXIL WELLNESS

～わたしたちのかげえのない健康～



「LIXIL WELLNESS（ウェルネス）」とは、LIXIL（会社）とLIXIL健康保険組合がみなさんの健康の為に連携を強化し、相互に資源や強みを活用するLIXIL流の「コラボヘルズ」を指します。
 「LIXIL WELLNESS」を推進することにより、みなさん一人ひとりがこれまで以上にいきいきと健やかに毎日を過ごせることを目指します。
 このパンフレットでは「LIXIL WELLNESS」について、皆さんに“知ってもらいたいこと”、“協力して欲しいこと”をお伝えします。

※このパンフレットは、LIXIL健康保険組合の運営する「LIXIL WELLNESS」について、LIXIL（会社）とLIXIL健康保険組合が連携して作成したものです。LIXIL（会社）は、LIXIL健康保険組合の運営する「LIXIL WELLNESS」について、LIXIL（会社）とLIXIL健康保険組合が連携して作成したものです。

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
人間ドック 受診	6,426名	7,184名	7,394名	7,629名
子宮ガン・乳ガン検診 受診	1,082名	1,219名	1,305名	1,308名
歯科検診 受診	285名	179名	180名	175名
特定保健指導 実施	883名	960名	655名	439名

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

メンタルヘルスケアや職場復帰支援

疾病の予防や早期発見には、従業員自身が十分な知識を持つことも大切です。LIXILでは、事業所単位でのメンタルヘルスセミナーを実施することで、従業員一人ひとりがメンタルヘルスへの正しい知識を持って予防に取り組むよう働きかけています。

不安や懸念を感じたら従業員は、いつでも「こころとからだの健康相談窓口」で、社内保健師に電話やメールで個別相談することができ、専門的なサポートを受けられます。管理職を対象にしたメンタルヘルスマネジメント教育も実施し、早期発見・早期治療ができる職場環境づくりに努めています。

また、疾病による休業者については、「職場復帰プログラム」に基づいた復職支援を行っています。これは、休業中のケアから復職後の支援（フォローアップ）まで、それぞれの心身の状態に合わせて対応できるプログラムで、産業医・保健師が専門的なサポートをしながら職場復帰を支援します。精神科産業医は主要拠点に配置されており、全国でメンタルヘルスケアの専門的支援が受けられる体制を整えています。

獲得しています。

関連リンク

[従業員 労働安全衛生 \(Global サイト\) >](#)

労働安全衛生に関する取り組みは、グループ全体の重要なイシューに位置づけ、グローバルで報告しています。

「KENKO企業会」の活動

労働者の健康保持増進は一企業の活動にとどまらず、働く人たち全員の課題です。



LIXILは健康管理のノウハウを共有・活用することにより、会員企業全体の健康増進活動の有効性・活性化を向上することを目的とする「KENKO企業会」をテルモ、第一生命、帝人、NTTドコモら13社と業種業界を超えて共同で設立し、2016年6月現在、34社に拡大しています。日本再興戦略における「健康寿命の延伸」を軸として、健康増進のリーディングカンパニー集団をめざして活動し、30万人を超える会員企業の従業員の健康に資するだけでなく、日本全体の健康寿命の延伸に貢献していきたいと考えています。

この「KENKO企業会」は、経済産業省も後援しています。LIXILは、「健康経営度調査（従業員の健康に関する取り組みについての調査）」において高い評価を

ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

従業員とともに › 労働組合

世界では労働者的人権侵害問題は大きなイシューであり、2015年9月国連で採択された「[持続可能な開発目標 \(Sustainable Development Goals: SDGs\)](#)」でもディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の機会促進が掲げられています。日本では、日本国憲法第27条の働く義務と合わせ、第28条に労働者の権利として、団結権、団体交渉権、団体行動権が定められ、労働三権と呼ばれています。LIXILは法令を順守し、労働条件や職場環境改善などについて、労働組合と建設的な協議を重ね、相互に尊重しあい、信頼しあう関係構築に努めています。

LIXIL 労働組合

国内では、企業内組合が多く、LIXILもLIXIL原籍の正社員を対象としたユニオンショップ制によるLIXIL労働組合を結成しており、13,973名(2016年3月末時点)が加入し、「働きやすい職場環境づくり」を組合員目線で進めています。

LIXIL労働組合は、全ての活動の基本となる「ミッション・ビジョン・バリュー」を制定し、活動に取り組んでいます。



LIXIL 労働組合のミッション、ビジョン、バリュー

ミッション（労働組合の存在意義、命を使って実現するもの）

組合は、みんなの笑顔を創ります。守ります。育てます。

ビジョン（ミッションを実現するためのありたい姿）

会社	職場	個人
世界中の人々から愛され、 誇りを持って働ける会社	やる気、活気、思いやりが あふれる職場	自ら成長を重ね、 感謝し感謝される人

バリュー（ミッション、ビジョンを実現するための労働組合役員行動指針）

私たちには、絆を大切にします	私たちには、学びを大切にします	私たちには、率先行動を大切にします
みんなのために	私たちには、学びを大切にします	私たちには、率先行動を大切にします

組合員の想いと会社の意向の調和させるために、「労使協議会」を定期的に行い、一定の成果を挙げてきました。また、大きな労働条件の改定などの重要なテーマについては「労使専門委員会」を組織し、検討・協議を尽くしています。特に、WLF(ワーク・ライフ・フレキシビリティ)検討委員会では、育児時短制度や延長保育料補助など、仕事と家庭の両立支援に関わる制度の見直しについて議論を繰り返してきました。

こうしたプロセスを経て導入・改訂された労働条件や各種制度は、職場を代表する組合役員で構成される中央委員会で説明、質疑応答が行われ、その後職場会にて組合員とも情報共有しています。また組合や会社の制度などをまとめた「ユニオンガイド」を定期的に改定、配布することで、制度の周知、有効活用を図っています。



ステークホルダー エンゲージメント

お客さまのために

- | 安全に関する情報発信と啓発活動
- | 課題別ダイアログ
- | ビジネスパートナーとともに

地域社会の中で

- | 地域との対話
- | 自然環境の保全
- | 復興支援
- | 寄付、協賛、共催

未来世代のために

- | 伝え、ともに学ぶ
- | 日本での評価、約束

従業員とともに

- | 多様性の尊重
- | 働きがいのある職場環境づくり
- | ヘルスケア
- | 労働組合

・定期大会の開催

労働組合の最高決議機関として「定期大会」が毎年開催されています。年間の活動実績や来期に向けての活動方針、決算や来期予算などの承認を約100名出席者（代議員）による採決で決めています。

・年末一時金、春闇交渉の実施

組合では2回／年会社側と団体交渉を行っています。秋（10月～11月）には年末一時金について、春（2月～3月）は賃金、一時金、労働条件について交渉を行っています。

・組合機関誌「TUNE」の定期発行

組合では組合活動や組合員からの投稿記事などを掲載した機関誌を定期的に（4回／年）に発行しています。タイムリーな情報を満載したこの機関誌は、氾濫するメール情報に埋もれずに情報共有できるツールとしての役割りを担っています。



組合員意識調査「Union Check」の実施

LIXIL労働組合では、昨年に続き、2016年も組合員へのアンケート調査を実施しました。

組合員の女性比率も高まり、また若い世代を中心に就労への意識やライフスタイルにも変化が表れてきています。組合活動に対するイメージや要望を正しく把握し、組合活動の意義を再周知していくことを目的に実施しています。

LIXILスマイルクラブ

LIXILスマイルクラブは、福利厚生制度を専門に扱う団体で組合員とその家族の生涯総合福祉の増進を図ることを目的としています。会員の皆さんのが「安心」した生活を送ることを最優先に考え、日常生活での「充実」を図ることにより、「仕事への活力」に繋がるよう支援しています。

病気・ケガ・事故に遭った場合など、万一の備えや余暇の充実として、団体優遇制度の導入や福利厚生サービスを中心に、結婚から葬儀に至るまで生活面での支援や、ライフイベントに合わせたセミナーや自己研鑽支援サービス、会員向け販売会などを開催しています。

<主な制度紹介>

慶弔金制度、団体保障制度、各種融資制度、リフォーム支援制度、車両紹介制度、儀式支援サービス、福利厚生サービス等

